

平成 27 年度 第 1 回

地域懇談会報告書

地域が地域コミュニティの活性化を考える！



二中地区地域懇談会風景



三中地区地域懇談会風景

日野市企画部地域協働課

はじめに

地域が地域コミュニティの活性化を考える！

平成 26 年度から地域懇談会の形を大きく変更し、今年度で 2 年目となります。

昨年度は「地域が地域を知る」をテーマに、第 1 回目で地域の資源を地図に落とすマップ作りをし、第 2 回目では、マップを参考に「人とまちの魅力再発見散歩」と題し、実際に歩いて、地域の資源を見てみました。

その際、地域の方がチェックポイントで、歴史、背景、成り立ちなど、掘り下げた話を参加者に話してくれました。知っているようで知らなかったことがたくさんあり、参加者からは大変好評を得ました。

今回、平成 27 年度第 1 回地域懇談会のテーマは「地域が地域コミュニティの活性化を考える！」でした。

グループに分かれて地域の課題を考え、その課題を解決するための「アクションプラン」を各グループごとに作ってみました。

課題を解決するには、市民一人ひとりが課題を意識し、考え、実行に移すことが必要です。小さなことでも、成功体験を積み重ねることが、大きな課題を解決するきっかけになると考えています。

今後は、各グループから出されたアクションプランを市民の有志の方と市で、具体的な形にしていく作業をしていきます。

地域懇談会をとおり、コミュニティ再生に向け 10 年、20 年かけて取り組んでいく第一歩を市民と市で一丸となって踏み出しましょう。

日野市企画部地域協働課

I	開催概要.....	1
II	今回の懇談会のねらい、懇談会の内容.....	2
III	各中学校地区における動き～事例紹介～.....	12
IV	懇談～地域で人と人とがつながるアクションを考える～.....	14
V	アンケート.....	23
VI	最後に.....	56

I 開催概要

1. 実施状況

平成 27 年度実施状況				平成 26 年度実施状況	
場所	日程	会場	参加人数 (人)	第 1 回 (人)	第 2 回 (人)
三沢中地区	6/20(土)午前	三沢中学校	60	76	45
七生中地区	6/20(土)午後	七生中学校	55	36	49
三中地区	6/27(土)午前	七生福祉センター	34	39	38
一中地区	6/27(土)午前	生活・保健センター	49	47	48
平山中地区	7/4(土)午前	平山小学校	49	57	34
二中地区	7/4(土)午後	多摩平交流センター	45	36	36
大坂上中地区	7/11(土)午前	新町交流センター	44	38	39
四中地区	7/11(土)午後	首都大学東京	50	37	32
※午前…10：00～12：00 午後…15：00～17：00 合計			386	366	321
				687	

2. 主な参加者内訳

自治会長、青少年育成会、PTA、ひのっち、老人クラブ、健康づくり推進員、スポーツ推進委員、青少年委員の会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、保護司会、消防団、民生・児童委員、NPO 法人、地域の大学生...など

3. 当日のプログラム (120 分)

- (1) 懇談会のねらい、本日の内容
- (2) 各中学校地区における動き～事例紹介～
- (3) 懇談～地域で人と人がつながるアクションを考える～
- (4) 市長あいさつ
- (5) 市からの報告

地域懇談会

平成27年度テーマ
地域が地域コミュニティを考える

H27.第1回目 地域懇談会
日野市地域協働課 作成

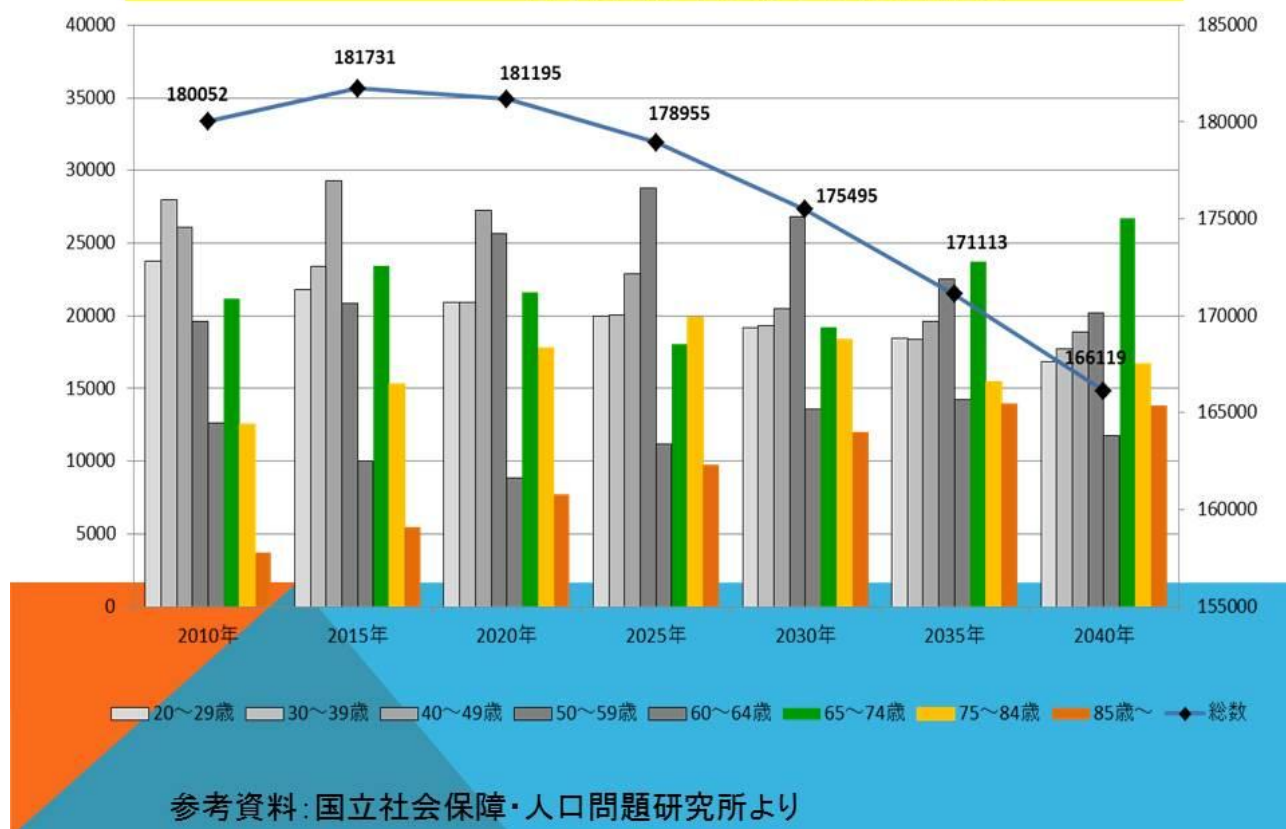
地域懇談会のねらい

【背景】今、起こっていること・・・

- ① 高齢化が今 現実には！
- ② 人口が減っている。減っていく。

**住んでいる皆さんが
一番分かっている・・・。**

『日本の地域別将来推計人口』 (日野市の人口の推計値)



日野市の人口構成割合の予測

2040年(2010年と比較)

・日野市の高齢化率

1.5倍 34%

・生産年齢人口

2割減 55.4%

・3.2人で1人→1.6人で1人

各中学校区のデータ

平成27年3月発行 日野市住宅マスタープランより				
	高齢化率 (65歳以上の人口/総人口)	人口増減率 (H21年からH25の増減率)	年少人口率 (15歳未満の人口/総人口)	定住化率 (5年前の常住地が現住所であった世帯割合)
平均	22.3%	103.0%	13.2%	64.3%
一中	18.0%	106.0%	15.1%	61.4%
二中	25.8%	107.0%	12.2%	62.7%
七生中	23.6%	102.0%	12.0%	65.5%
三中	38.2%	97.0%	13.1%	67.2%
四中	17.8%	104.0%	15.6%	63.8%
三沢中	22.1%	102.0%	13.3%	63.4%
大坂上中	19.4%	105.0%	13.7%	63.9%
平山中	30.9%	99.0%	10.7%	70.2%

高齢化、人口減による地域課題

地域課題は複雑に絡み合っている

- ① 高齢者の二人暮らし、独居、
老々介護、消費者被害
- ② 空家の増加
- ③ いざ、災害時に 命 を守れるか？
- ④ 安心して、子どもを産み育てられる？
- ⑤ 住環境(安全、まちなみ、緑、水)は
維持できるか？
- ⑥ 近所のスーパーは撤退しない？ など

三沢中地区での課題（H26地域懇談会より）

よい点（強み）	課題
(1) 向島用水親水路	(1) 地域の高齢化 ①若い人がいない ②子どもは出て親世代だけが残る ③高齢化の為、役員の担い手がいない
(2) ふれあい橋	(2) コミュニティの低下 ①顔を知らない ②若い人が参加しない
(3) 浅川 ①浅川からの景色、②カワセミ、多くの魚がいるなど	(3) 防災への不安 ①災害時にどう対応するか ②高齢者の避難

七生中地区での課題（H26地域懇談会より）

よい点（強み）	課題
①自然（用水・湧水・かわせみ・浅川）	①南平の犯罪件数増加（犯罪件数市内No.1）
②市民の憩いの場（南平駅前ポケット広場・南平丘陵公園など）	②空き家が増えてきた（空き家への侵入盗も増）
③まちに趣がある（坂道・丘陵地からの夜景・一番橋）	③地域活動の仲間が増えない（昔から地域にいる方の中に若い世代が入りにくい）

三中地区での課題（H26地域懇談会より）

よい点（強み）	課題
①程久保川（生活排水の流入がなくなったことで水質が改善しカワセミなどの野鳥や動物が多く観察できるようになった）	①防災対策（土砂崩れなど）
②自然が豊富	②つながりに不安がある
③明星団地はワゴンタクシーも走り便利になってきた	③住民の地域への無関心

一中地区での課題（H26地域懇談会より）

よい点（強み）	課題
(1) 仲田の森 蚕糸公園 ①子供たちの遊び場 ②桑ハウス	(1) コミュニティの低下 ①近所の顔を知らない ②自治会に加入してくれない
(2) 用水路 ①昔の面影が残る。 ②魚もいる。	(2) 子育ての不安 ①近くに頼る人がいない ②子ども会加入者が減
(3) 多摩川 ①多摩川からの景色 ②土手沿いの桜並木	(3) 防災への不安 ①最近災害が多い ②災害時にどのように救援活動するか

平山中地区での課題（H26地域懇談会より）

よい点（強み）	課題
①大名淵・出口公園など、歴史に関連した資源がある	①空き家が増えた
②用水の魚や、カワセミなどの生き物が多い。	②防災対策(土砂崩れなど)
③景色の良い場所がたくさんある	③高齢者と子どもの繋がり

二中地区での課題（H26地域懇談会より）

よい点（強み）	課題
①商店・商業施設(駅前商店街・イオンモール等)	①新住民と旧住民の交流が難しい(マンションの若い世代がなかなか地域に入っていきにくい)
②自然(黒川清流公園をはじめ、駅前でありながら緑・用水など自然が豊富)	②商店の活性化
③人(地域活動が活発)	③今の自然をどう残していくか

大坂上中地区での課題（H26地域懇談会より）

よい点（強み）	課題
(1) 自然と歴史資源が豊富 ①よそう森公園 ②日野宮神社 など	(1) 防災意識の波及 ①台風や大雨の際の崖崩れ ②防災訓練への参加者が少ない
(2) 用水路 ①カモや小鷺 ②昔の面影が見られる	(2) 高齢化 ①高齢者の見守り ②災害時の避難・雪かき
(3) 本当に困った時は助け てくれる地域 （大雪の際、若い人も一緒に雪かきしてくれた）	(3) 自治会の継続 ①若い世代が積極的に参加できるような組織作り ②自治会役員の成り手

四中地区での課題（H26地域懇談会より）

よい点（強み）	課題
①旭が丘中央公園、豊田車両センター、首都大学東京、	①集合住宅と戸建住宅の人々のつながり
②たきび祭り、巽聖歌、ひのよさこい祭り	②自治会会員数の減少
③ものづくり企業、中核企業、浅川、農ある風景	③建物の老朽化と人々の高齢化

**多くの未経験の不安が待っている！
もっと住みよいまちにしたい！**

自治体だけでは対処できない。

それも、みなさんは分かっている…

だから、この場所に集まっている
頑張っている！

でも、もっと仲間、つながりが
必要と感じている！

地域懇談会のねらい！

**地域における
365日の
多様なつながり
を創る！**

ちょっと 難しいですが・・・

ソーシャル（社会的）キャピタル（資本）

・「集団内部または集団間の協力を円滑にする共通の規範、価値観、および理解を伴うネットワーク」(OECDの定義)

・「ソーシャル・キャピタルを蓄積した社会では、相互の信頼関係があるために、市民の自発的な協力および政治・コミュニティ参加が行われやすく、不信渦巻く社会より効率的である」(米政治学者ロバート・パットナム)

**「地域懇談会」を通じて、
365日の多様なつながりを創る！
～情報共有・役割分担・連携～**

① 共有しやすいテーマ、
フラットな立場で
話し合える場を創る！

② 魅力や課題を共有し、
できる限り楽しい実践も踏まえ、
市民主体のまちを創る！

③ 若い世代も一緒に まちを創る！

地域懇談会の3年計画

H26 地域が地域を知る！

H27 地域コミュニティを考える

H28 (仮)地域が動き出す

本日の地域懇談会

～地域が地域コミュニティを考える～

地域において

人と人がつながる

アクションを考える。

- ・地域の課題を踏まえる。
- ・地域資源(強み)を踏まえる。
- ・みんなが関われる。

Ⅲ 各中学校地区における動き～事例紹介～

1. 三沢中地区

	日野市老人クラブ連合会 会長 浦野宏紀さん 新井地区で活動している老人クラブ「和楽会」の活動について紹介して頂きました。自治会・子ども会の行事のサポートなど、幅広い活動を紹介して頂きました。
	落川交流センター運営委員会 事務局長 原耕造さん 第八小学校にて結成予定の防災会について紹介して頂きました。自治会などの地域の方への幅広い参加を呼びかけました。

2. 七生中地区

	南平五丁目カフェ 代表 鶴沼紀子さん 「子育て中のお母さんがゆっくりできる場所を作りたい」という思いから、新川辺自治会、日野子育てパートナーの会と連携して地区センターでカフェを開いています。お母さん、子ども、ご年配の方、地域の方などが集まり、地域の輪も広がりました。
--	---

3. 三中地区

	明星大学 MCAT 代表 小林玄武さん 明星大学 MCAT は、市内の防犯・防災活動、地域貢献活動を行っているボランティアサークルで、三中地区でパトロールを行っています。今後も地域のためにがんばっていきます。
---	--

4. 一中地区

	日野多摩川自治会 会長 辻本崇夫さん 地区センターで実施しているサロン活動について発表してもらいました。高齢者の見守りや多世代交流を目的に実施しています。サロンの特徴や運営の秘訣についてお話を頂きました。
	ひのいちダンディーKai 佐藤伸彦さん 第一小学校のいわゆる「おやじの会」です。学校運営の協力やイベントの開催など活動内容について発表し、7月実施の避難所一泊体験へ地域の方の参加を呼びかけました。

5. 平山中地区



明星大学 減災プロジェクト Fine 齋藤元気さん

顔の分かる関係づくりから災害に負けない地域コミュニティを作ることを主な目的に「ひらやま減災ウォークラリー」を学生と地域住民などと共に行いました。これは子どもを中心に、スタンプラリー形式で、クイズを解きながら、防災(減災)について考える企画でした。当日は**150名**以上の参加者があり、新たな出会いも生まれ、実りあるイベントとなりました。

6. 二中地区



泉塚自治会 会長 阿部孝一郎さん

泉会 会長 貴志義孝さん

自治会の活動をサポート・促進を図る組織として「泉会」を立ち上げました。また、子どもと一緒に楽しく学ぶ防災プログラム「イザ！カエルキャラバン！」を行うなど、防災意識の啓蒙・訓練にも力を入れています。

7. 大坂上中地区



大坂上都営住宅自治会 会長 山形浩一さん

初めて自治会長を引き受けた時、「義務感」などによって、皆が自治会活動に対して消極的になっていると感じました。そこで、まず役員の意識改革、義務感の払拭を行いました。また、市や警察との折衝を工夫し地域の問題解決を行いました。住民同士のつながりを増やし、地域コミュニティーを「いい塩梅で」復活させたいと考えています。

8. 四中地区



GS ハイム豊田自治会 杉本康江さん

大災害が発生した場合、市民が小学校へ避難する際に混乱が生じる恐れがあります。これを防ぎ、円滑な避難所運営を行うため、地域住民が主体となった初動対応マニュアルが必要です。そこで、市・学校・周辺自治会等と協力し、旭が丘小学校「緊急避難初動対応マニュアル」を策定しました。

1. 懇談の内容

本日の地域懇談会 ～地域が地域コミュニティを考える～

地域において
人と人がつながる
アクションを考える。

- ・地域の課題を踏まえる。
- ・地域資源(強み)を踏まえる。
- ・みんなが関われる。

各会場では、6～8 グループに分かれ、ワークショップ形式で「人と人がつながるアクション」を考えました。

平成 26 年度地域懇談会で市民の皆さまから挙げた「地域の課題」「地域の資源(いいところ)」を踏まえ、地域の特徴・課題を深く掘り下げて考え、何が問題で起こっているのかを分析しました。

そして、挙げた地域の課題を自分たちでどうやって解決していけるかについて、意見を出し合いました。

地域の課題の解決は、行政だけで実現できるものばかりではありません。市民の方々ができるものも多くあると思います。今回の懇談会では、市民の方々ができる解決方法について、地域の皆さんで考えてみました。



2. 各地区の主な内容

(1) 三沢中地区

各グループでの主な検討内容		
A	課題	・ ふれあいサロンをやっているが、参加者が固定化している
	アクションプラン	・ 自治会と大学生のコラボレーション
B	課題	・ 自治会の組織率が低い ・ 高齢化しており、お祭り等を実施するが負担。
	アクションプラン	・ お祭りは、コミュニティである
C	課題	・ 自治会の会員が増えない。 ・ 健康寿命を延ばす
	アクションプラン	・ 三世代交流（家族全員の参加で一斉清掃）
D	課題	・ 子どもたちの遊び場がない ・ 災害時の相互の助け合い、自治会の中でもつながりが少なくなっている
	アクションプラン	・ サロンの運営 ・ 空地・空家を有効活用
E	課題	・ インターネット、SNS 等便利になりすぎて、人間関係が希薄化 ・ 自治会の負担が大きくて、入る人がいない
	アクションプラン	・ 誰もが来れるサロンの開設 ・ 学生のサークルやゼミ等にうまく働きかけ、若者を呼び込む
F	課題	・ コミュニティの低下（高齢化・子育ての孤立・自治会に入らない）
	アクションプラン	・ ポスター等で自治会の良さを宣伝
G	課題	・ 高齢者世帯の増加 ・ どんな人が住んでいるのか分からない。
	アクションプラン	・ 情報を集め、伝えていく（メール等を使う。情報収集が安否確認になる） ・ イベントで交流する。
H	課題	・ 顔が分からない、活動の情報が地域に伝わらない。 ・ 大学生も声をかけられれば活動するが、そのことを地域が知らない
	アクションプラン	・ 掲示板や回覧板の活用

(2) 七生中地区

各グループでの主な検討内容		
A	課題	・犯罪率が高い ・仲間が増えない（自分から捜さないと仲間が増えない）
	アクションプラン	・南平散歩の会を開催（地域を歩くことで地域を知る・つながる） ・新しい人が入ったら、転入時に自治会名・自治会長を伝える。
B	課題	・自治会加入率が低い。 ・犯罪率が高い。
	アクションプラン	・あいさつ運動を行う（地域住民が顔見知りになるため。まずは自宅周りから）
C	課題	・自治会加入率が低い。
	アクションプラン	・仕事を分担する等、負担を軽減 ・話し合える場の創出
D	課題	・犯罪率が高い ・自治会の情報が伝わらない。
	アクションプラン	・防犯がキーワード ・まず地域の空き屋等防犯上重要な場所の把握→それをマップに落とす。
E	課題	・高齢者が引きこもりがちである。（特に丘陵地）
	アクションプラン	・出歩く機会を作る。 ・とにかく楽しく！期待をもってもらう。 ・様々な団体と連携して考えたい。
F	課題	・地域の高齢化 ・空き家が多い
	アクションプラン	・元気な高齢者の活用（活躍の場がどこにあるのかわからない。活用の機会を考えられないか。） ・空き家はみなみが丘だと 400 軒中 16 軒ある。大学生が住めるようなシェアハウスにできないか。
G	課題	・犯罪率が高い。
	アクションプラン	・パトロールを警察などと連携して行う。
H	課題	・犯罪率が高いのは静かすぎるからでは。 ・男性があまり地域活動に参加しない。
	アクションプラン	・男のサロンの開催（挨拶&人の集まる場の創出&男性に仕事・役割を与える）

(3) 三中地区

各グループでの主な検討内容		
A	課題	・丘陵地であり、坂が多い地理的特徴（高齢者が移動にしにくい） ・高齢者の買い物難民。つながりを地域でつくるのが難しい
	アクションプラン	・世代を超えた交流（コミュニティの場を創出・MCATと連携） →①あいさつ運動（地域にどういう人がいるかを知る） ②お祭り等のイベント
B	課題	・水害の不安 ・高齢化（丘陵地ということ、土日にかわせみ号がないことから外に出ない）
	アクションプラン	・たまり場をつくる...自治会が実施主体となると無理がある。自治会とは別に団体の枠を超えた核をつくっていくべき ・世代間交流...二水会（明星大ボランティア×老人会の交流の場第二水曜実施）などの会を広めていく
C	課題	・地域のつながりが不安定...自治会脱退する人が多い、参加する人が限られる、近隣の人への興味がない
	アクションプラン	・イベント実施 ・定期的なあいさつ運動 ・自治会間の交流
D	課題	・地域のつながりの中心は自治会だが、存続すら危うい状況
	アクションプラン	・規模の小さい自治会間のつながりを創出する...例えば防災をテーマにつながる。
E	課題	・つながりの希薄化の原因は、自治会がどんな活動をしているか情報がうまく伝わっていないことにあるのではないか
	アクションプラン	・アクションプランを考える上でのキーワード ①若い力 ②わくわく ③継続性（長く住んでいくまち） ・まちの掲示板をもっと活用 いろいろな世代が関われるスペースや、面白い商店などを掲示板で発信
F	課題	・丘陵地 防災面で土砂崩れなどの不安 ・つながりがないゆえに情報伝達ができない ・地域に関心のある人はサロンなどに行っているが、関心のある人ない人に差がある。
	アクションプラン	・どんなイベントも楽しく！ 楽しい体験→口コミで広まる→人が増える ・楽しくする手段として大学生を入れる 大学生は4年でいなくなってしまうが、地域に大学生お世話焼きの人がいれば、人が変わっても続いていくのでは ・ひのっちの自治会版をつくる（空き家などで地域で子どもの見守り）

(4) 一中地区

各グループでの主な検討内容		
A	課題	・高齢化進んでいる。 ・新旧住民の交流が少ない。 ・コミュニティの低下
	アクションプラン	・子どもと大人を同士を繋ぐイベントをきっかけに顔の見える関係に →仲田の森で炊き出し、防災訓練
B	課題	・コミュニティが必要のない社会になってきた。 ・自治会、老人クラブの加入者が減っている。
	アクションプラン	・カラオケ、ゴルフなど趣味の同好会をつくりそれを広げる。 ・お祭り(多世代交流ができる) ・自治会など役員になるのに抵抗があるので、サポーターにお手伝いをしてもらう。
C	課題	・高齢化問題(自治会の加入にも影響) プライバシーの問題もあり、垣根を越えた付き合いができない。
	アクションプラン	・参加のきっかけを自治会で作る。組単位(小さな単位)の親睦会を無理のない範囲で行う。
D	課題	・中高生に目がいけない。 ・新しく来た人が根付かない。
	アクションプラン	・中高生に活躍の場を与える。 ・各自治会、各団体の行事に子ども、老人に何かしてもらう。 できる範囲でできる活動。→あいさつ運動(顔見知りになる)
E	課題	・コミュニティの低下
	アクションプラン	・転入時に市が自治会への参加を誘う。ごみ出しなどは自治会長に聞いてもらう。
F	課題	・高齢者の居場所、子供の遊び場が少ない。 ・近所に相談する場がない。意識の低さが問題。
	アクションプラン	・「おせっかい」を進める あいさつや声掛けなど。
G	課題	・市民活動団体→情報発信が難しい。 ・自治会加入率が低下。→メリットが少ない。 →イベントをしているが加入に繋がらない。
	アクションプラン	・子どもと高齢者の交流 ・アンケートをとってラジオ体操をおこなった。95%がやって欲しいとなった。何を行うか、アンケートをとるのも1つの手だと思う。

(5) 平山中地区

各グループでの主な検討内容		
A	課題	・見守ってくれてる人がいない ・空き家多い 空き家予備軍も多い⇒でもこれをチャンスと捉えよう！
	アクションプラン	・空き家活用案（南平ふれあいサロンもやっている） 「高齢者も行ける児童館」
B	課題	・ワークシートの通り(空き家が増えた、防災対策<土砂崩れなど>、高齢者と子どもの繋がり)
	アクションプラン	・空き家活用...確実な情報を持っている市を活用する) ・防災訓練の工夫...防災訓練はよく行うが、ワンポイントレッスンなどもっと楽しく工夫をして行う。 ・さらにイベントを！...いつも同じ人でイベントをしているのではなく、もっと新しい人を呼び込むイベントを行う。
C	課題	・西平山＝日野のチベット
	アクションプラン	・子育て支援の充実...若い世代移り住んでくる→空き家解決するのでは。 ・平山地域は地理的に恵まれている（浅川・公園） 具体的案まではいかなかったが、それをより活かすことができないか。
D	課題	・高齢化 高齢者の見守り ・高齢者と子どものつながりの希薄化
	アクションプラン	・要支援者リストを自治会に開示、自治会が集めたリスト、住民の交流、隣近所 ・あいさつ運動（隣近所の子どもの声をかける） ・歴史を若い人に伝えていく（団塊世代は、自分の子ども達へ）
E	課題	・地域の高齢者と若者の交流がないという問題を考える上で、若い世代は昼間働きに都内に行っているため日野にいないという課題がある。
	アクションプラン	・地域懇談会にもっと若い世代を呼ぶ この地域懇談会が情報交換の場、顔見知りになれる場にしてはどうか。
F	課題	・高齢者など社会的弱者が多い。 ・でもどこに地域で助けなきゃいけない人がいるのか個人情報の壁があつてわからない。
	アクションプラン	・ここに電話すれば教えてくれるっていう場があると良い ・教えてもらえれば雪かきのときフォローするなどできる。 ・地域で社会的弱者を助ける上で、中学生は貴重な人材になり得るのでは。 ・地域懇談会にも中学生などを呼ぶべき

(6) 二中地区

各グループでの主な検討内容		
A	課題	・地域活性化→イオンだけではだめ。 ・交流の場が少ない ・マンションと戸建の交流がない ・自治会加入が少ない
	アクションプラン	・交流の場が少ない→イベントを行う。 ・自治会加入が少ない→顔合わせ。自治会に入るメリットが必要。行政も転入時に自治会のことを伝える。入るように囲い込む。
B	課題	・自治会加入率が低い。自治会の意向が住民に伝わらない。 ・新住民との交流が難しい。 ・高齢化率高い。災害時の問題。逃げる場所が遠い。
	アクションプラン	・ひな祭りやお月見といった古くからあるイベントを行ったらどうか。
C	課題	・若い人と高齢者の時間が合わない。機会がない。
	アクションプラン	・場づくりが大切。神社を清掃、自治会対抗運動会、じゃがいも掘りなど、興味で繋がる。若い人との交流の場はいらないという意見もあった。
D	課題	・自治会会員少ない。 ・自治会の情報が伝わらない。
	アクションプラン	・たとえば、自治会活動を紹介する場を作って来てもらう。 ・1号公園でB級グルメ大会。
E	課題	・道が暗くて怖い。 ・自治会加入率が低い(3.11以降は入ってくれる人もいるが、古い人は入らない。)
	アクションプラン	・PRが必要
F	課題	・マンションと戸建の繋がりを作るのが難しい。 ・自治会に入っていない人との交流が少ない。 ・集まる場所はあるが、使いたいときに使えない。 ・昔と比べて地域の催しが減ってきた。
	アクションプラン	・広報で「集まる場所」を掲載しPRする。 ・年代を絞って集まれる場所があると良い。 ・昔と比べて地域の催しが減ってきた。→共同でできたら良い。
G	課題	・商店の活性化→確かに減っている。買い物に行けない高齢者もいる。
	アクションプラン	・宅配サービスの利用。サザエさんの三河屋さんのような御用聞き。引き売りも有効。 ・学校行事にも自治会が関わっていく。

(7) 大坂上中地区

各グループでの主な検討内容		
A	課題	・避難場所がどこかも知らない(意識が低い) ・高齢者がどこにいるか、個人情報の関係で把握できない。
	アクションプラン	・自主防災訓練を行う。 ・高齢化→個人情報の開示が必要。 ・自治会継続→新しい家を1軒1軒回って呼びかける 若い人に興味を持たせる。自主防災をメインにする。
B	課題	・消防団のなり手がいない。→若い人は働きに出ている。 ・老人クラブの加入者が減っている。 ・自治会→入りにくい雰囲気がある。加入呼びかけをしていない。 お祭りの負担が大きい。若い人と昔からいる人の交流が少ない。
	アクションプラン	・実践女子大と自治会で何かできないか。
C	課題	・防災意識が低い ・高齢者多い ・自治会加入が少ない。
	アクションプラン	・自治会の格をあげる。継続が大事。 ・子ども行事を開催し、若い人を呼び込む ・雪かき隊を組織したい。
D	課題	・防災→移動手段の確保 ・回覧を見てももらえない→ルーズ ・自治会に魅力ない。
	アクションプラン	・向こう三軒両隣→責任を持つ。 ・思いやりを持つ。配慮して関わりを持つ。 ・自主避難リストを作る。→班で近所のことを把握できれば良い。
E	課題	・自治会→参加少ない。 ・若い人が自治会に入らない。
	アクションプラン	・若い人が自治会に入らない。→ゴルフの会を作って顔見知りになる。 ・自治会→参加少ない→パソコンは若い人に。役割分担。 ・自治会→参加少ない。消防団中心で親睦のために川原で1杯。 ・交流会花火大会を行う。入って良かったと思われる自治会にする。
F	課題	・高齢者、要支援者→どう把握するか。 ・自治会の継続→義務感強い。
	アクションプラン	・場を作る。ふれあう場。 ・子育て応援→空き家を活用して応援する。
G	課題	・自治会加入のメリットが少ない。 ・川が遠く、水害の心配が少ない。市役所が近いので、防災は迫った問題でないという気持ちがある。 ・高齢化→1人暮らし多い。→意識が低い。
	アクションプラン	・高齢者の1人暮らし→お互い助け合う。 ・ハードルの低いことから始める。高齢者への声掛けなど。

(8) 四中地区

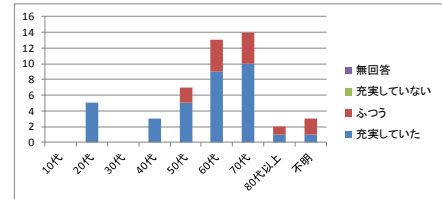
各グループでの主な検討内容		
A	課題	・若い世代は地域に関わる時間がない。 ・自治会加入者と未加入者との交流がない。 ・自治会に入りたいと思わせる魅力がない。 ・本当に入ってほしい人が入っていない。
	アクションプラン	・地区センターでのサロン ・井戸端会議の復活
B	課題	・自治会の必要性が低くなっている、加入率も低くなっている。 ・地域のつながりも希薄化している。
	アクションプラン	・地域のイベントの実施 ・日常的なこととして挨拶 ・マンション等の集合住宅自治会と戸建て自治会で、連合自治会を作る。
C	課題	・ライフスタイルが多様化している中で、みんな目指していることがバラバラである。そこを何で繋げるのかが問題。昔の日本のようなコミュニティでは現代は合わない。
	アクションプラン	・まずは挨拶から。
D	課題	・自治会のメリットがない。 ・集合住宅は特につながりが薄い。
	アクションプラン	・みんなが一緒にできることをする。旅行やたき火などのイベントなど。 ・そのほか、日常的に誰もが来れる居場所づくり。
E	課題	・自治会員の減少は、自治会役員の減少ということ。 ・要因は、役員は大変という「負のイメージ」。 ・集合住宅は役員1年交代が多く、役員になってもわからない場合が多い。
	アクションプラン	・中央公園を核として、自治会連合会をつくってイベントを実施していく。 ・自治会を作ろうとしているところには、自治会連合会など周りの自治会が支援する。
F	課題	・自分の子どもが大きくなったら自治会を辞める人が多い。 ・新しく引っ越してきた人が入らない。 ・新しく引っ越してきたことに、自治会が気付かない。
	アクションプラン	・結論は出なかったが、案として、地区センターを拠点に催しを実施し、別の自治会とも交流をしていきたい。 ・転入者に気付くには、日頃の人間関係でキャッチアップすることが必要。
G	課題	・ワークシートと同様。①集合住宅と戸建住宅の人々のつながり、②自治会会員数の減少、③建物の老朽化と人々の高齢化。
	アクションプラン	・とにかく、楽しい行事と楽しい反省会！大和田自治会では愛好会という有志団体がお祭りの中心。モチベーションは楽しい反省会。
H	課題	・若い世代と高齢者のつながりがない。 ・自治会のメリットが伝えにくい。
	アクションプラン	・自治会に入るきっかけづくりをしなければならないが、思いつかない。 ・それぞれの自治会のいいところを勉強し合う会をやりたい。

V アンケート

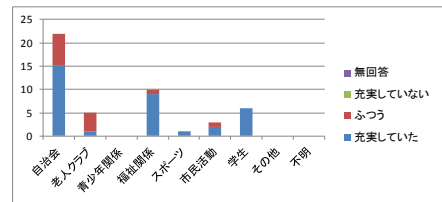
1. 三沢中地区

1 今回の地域懇談会はいかがでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた		5		3	5	9	10	1	1	34
ふつう					2	4	4	1	2	13
充実していない										0
無回答										0
合計	0	5	0	3	7	13	14	2	3	47

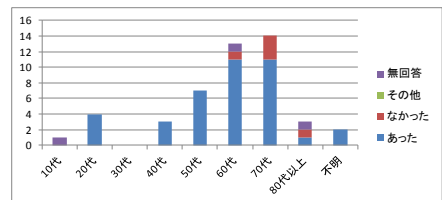


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
充実していた	15	1		9	1	2	6			34
ふつう	7	4		1		1				13
充実していない										0
無回答										0
合計	22	5	0	10	1	3	6	0	0	47

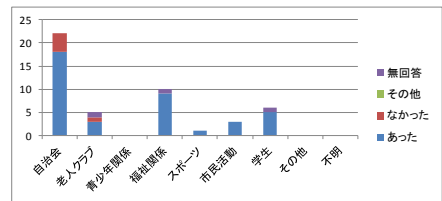


2 あなたが取り組みたい、やった方が良かったと思うアクションプランはありましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
あった		4		3	7	11	11	1	2	39
なかった						1	3	1		5
その他										0
無回答	1					1		1		3
合計	1	4	0	3	7	13	14	3	2	47

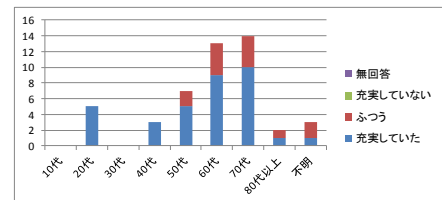


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
あった	18	3		9	1	3	5			39
なかった	4	1								5
その他										0
無回答		1		1			1			3
合計	22	5	0	10	1	3	6	0	0	47

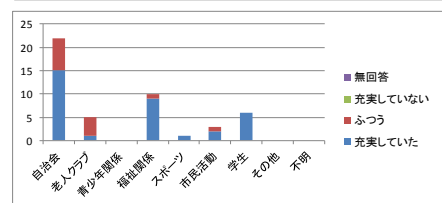


3 地域の課題を、地域の人々の力で解決できることに共感できますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
共感できる		5		3	6	12	12	2	2	42
わからない					1	1	2		1	5
共感できない										0
無回答										0
合計	0	5	0	3	7	13	14	2	3	47

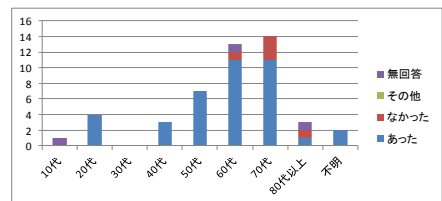


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
共感できる	18	5		9	1	3	6			42
わからない	3	1		1						5
共感できない										0
無回答										0
合計	21	6	0	10	1	3	6	0	0	47

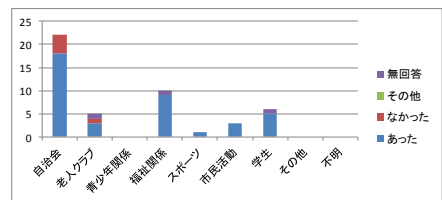


4 有志として、アクション案を形にしていくなかで会議への参加を希望されますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
希望する				1	1		2	1		5
迷っている		3		1	1	5	5	2	2	19
参加しない		1		1	1	6	4			13
無回答		1			4	2	3			10
合計	0	5	0	3	7	13	14	3	2	47



	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
希望する	2	1				2				5
迷っている	6	4		5		1	3			19
参加しない	8	2		2	1		1			14
無回答	4			3			2			9
合計	20	7	0	10	1	3	6	0	0	47



アンケート回答内容	
Q1. 今回の地域懇談会はいかがでしたか。	
1. 充実していた	34 件
理由	・アクションプランで、各自治会その他の方より、色々な意見が出て大変参考になった。 ・高齢者の居場所作りに、皆さんが興味あることがわかった。 ・普段、触れ合うことできない世代の方にお話を聞けた。 ・様々な自治会の課題、それに対する考えを模索することができたから。 ・学生の参加により良い討議ができた。 ・色々と考えさせられた。みんな熱心であった。 ・各自治会の方々が大変努力なさっているのが伺えたから。 ・全員が意見を発表。意見交換が活発であった。 ・幅広い参加団体があった。 ・多くの話が伺えました。みんなが思っていることが聞けて素晴らしい会。 ・自治会の方と腹を割って話すことができた。農地活用のサロン作りも応援して下さった。 ・各自治会の人達が意見を出し合う場はなかなかなく、多くの意見、自分が考えてもいない意見がでて、とても地域活性化につながるのではないかと思った。 ・様々な世代間（学生・自治会・老人クラブ）で話し合うことが大切である。子育て世代のお母さんを入れてほしい。 ・普段、会えない自治会の方とお話できた。 ・新しい事をするのに参考になった。
2. ふつう	13 件
理由	・これから充実する会だと思う。 ・自治会だけでなく、いろいろな参加団体があって良かった。 ・討論時間が少ない。 ・役所も地域もやることいっぱい。
3. 充実していなかった	0 件
理由	-
Q2. あなたが取り組みたい、やったほうがいいと思ったアクションプランはありましたか。それは何ですか。	
1. あった	39 件
具体的な内容	・ふれあいサロンでイベント参加・自治会のまつりに各大学のボランティアサークルに参加いただき交流をはかって行きたい。 ・ミニサロン作りに協力していきたい。自治会を超えたイベント・加入促進目的のイベント（防災・健康） ・大学生・自治会・老人会とのコラボ。一緒に企画を運営。雪かき等 ・地域住民、特に高齢者の集まる懇談づくり。 ・大学のサークル、ゼミ等と連携して地域のイベントを支援。それにより、地域の交流を深める。 ・アクションをしたいが、自分の周りの整理に時間を要している。 ・地域の若い人（まず、大学生）の参加を促す。 ・取り組みたいアクションプランはあったが、実際に実行に移すのは難しいと思った。 ・情報伝達手法を考える。

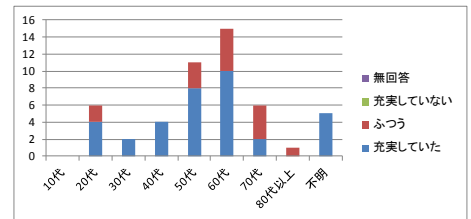
	・体操。 ・健康寿命向上・三世代交流・交流サロン。 ・健康寿命をのばす企画 その具体策は各々。 ・市の一斉清掃への参加。 ・自治会の主導（自治会活動の重点取組みの位置づけが必要） ・地域の人が集まれるサロン。 ・農地や空き地を活用した地産地消の野菜づくり、サロン、食事処作り、コミュニティ作りの場を増やす。 ・まず、自分の住んでいる身近で地域でも入りやすい方法を考えてみたい。 ・気軽に行けるコミュニティサロンの開設。 ・「自治会と一緒に出張子育て広場」。子育て支援の立場からも待っているだけでなく、「行く」が必要だと感じました。 ・自治会のイベント。 ・若い人のサークルや子育て組織に自治会活動への協力を要請する。 ・場を作る。 ・大学生との交流（老人会イベントへの大学生を招待）。 ・世代別のニーズに合わせたイベントをやる。 ・学生が協力するふれあいサロン（公園利用・農産物活用など）。 ・地域のお祭り等。 ・顔の見える自治会にしてほしい。防災は、特に必要と感じる。 ・情報共有の為の対策。 ・防災。 ・「高齢化について」老人、若者が共に暮らせる社会づくり。 ・連絡方法の IT 化。
2. なかった	5 件
具体的 な内容	・大学サークルとの連携 ・参加させることが、いつも難しい。
※番号に○がない意見	3 件
具体的 な理由	・大学のゼミ・サークルを使って地域の活動に参加させる。 ・時間がなくてまとめられない。 ・個々の事情により対応力が異なると考えています。
Q3. 地域の課題を、地域の人々の力で解決することに共感できますか。	
1. 共感できる	42 件
理由	・地域の人達が協力しないと地域課題は解決しないと思う。 ・課題に対して取り組むことが、地域を盛り上げることにつながるから。 ・地域社会への参画意識高揚を図ることの大切さを。 ・自分の町をより良くしたいという気持ちは誰しもが持っていることだと感じたため。 ・大切なことだと思いますが、地域だけでは難しい。 ・行政だけでは、地域活性化はできない。 ・お祭り、運動サークル。 ・自分のことは自分たちで。 ・当然、必要であると思いますがやり方が難しい。 ・かざりけの意見の中に改善するテーマあり。

	・自分が実際に当事者であれば、こういった活動で楽しめると思うから。 ・高齢者が増え財政も厳しい中、地域住民が力を合わせて解決するしか方法はないから。 ・こうやって話し合える場をもうけること事態が、地域の解決になるのではないかな。 ・防災。 ・住民それぞれで考えることが大事。 ・行政には限界。 ・全員で取り組むことにより、成果が期待できるから。 ・課題は共通している。
2. わからない	5 件
理由	・総合的な力（みんなの力）でやっていく。 ・個々の事情により対応力が異なると考えています。
3. 共感できない	0 件
理由	-
Q4. 有志としてアクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか。	
1.参加を希望する	5 件
2.迷っている	19 件
3.参加しない	14 件
無回答	9 件
Q5. 今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。	
内容	・各大学の若い人に参加してもらったことは、大変良いことだと思う。 ・子育て世代が少なかったと思う。高齢者の話題に流れがち。子ども会、PTA、子育てサークル等 若い保護者の意見も聞きたかった。 ・地域で活躍されている方にご意見を聞く事ができた。 ・多くの方がいるといろんな見方ができるのを感じた。 ・「学生の部活」やゼミと連携させて頂いて地域の活動点を作る方策を。 ・このような会が、年に数回あると良いなあと思いました。 ・グループ分けで近くの自治会で、まとめたほうが良かったと思う。 ・自治会活動運営に限定した意見交流の場があっても良い。 ・継続は力の理念で。 ・コミュニティを発信する。集まる「場所」が不足している。 ・高齢者年齢が高いため、高齢化に伴う問題がとりあげられやすい。 ・子育て支援をメインテーマにしては？ ・話し合いの内容を具体的に分かりやすくネットでも見られるようにしてほしい。 ・地域支援センターの方々とお話する機会がもてて良かった。 ・包括の周知がもっと必要と感じた。 ・グループごとに懇談する際、自由発言になると個人的なことになりやすいと思った。議事内容が事前にわかるとか、進め方に工夫が必要かと思った。短い時間でのことなので、すこしもったいないと思った。 ・前回に比べ学生さんが参加していたのは良かった。

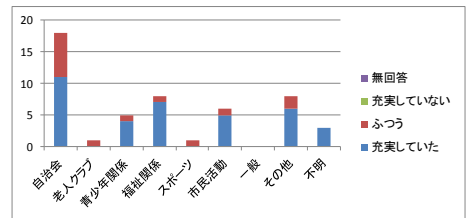
2. 七生中地区

1 今回の地域懇談会はいかがでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた		4	2	4	8	10	2		5	35
ふつう		2			3	5	4	1		15
充実していない										0
無回答										0
合計	0	6	2	4	11	15	6	1	5	50

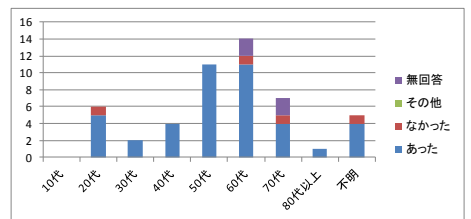


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
充実していた	11		4	7		5		6	3	36
ふつう	7	1	1	1	1	1		2		14
充実していない										0
無回答										0
合計	18	1	5	8	1	6	0	8	3	50

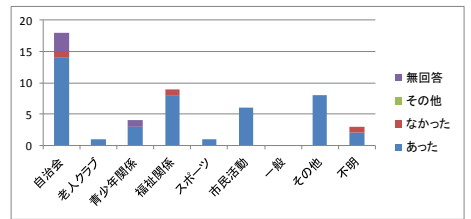


2 あなたが取り組みたい、やった方がいいと思ったアクションプランはありましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
あった		5	2	4	11	11	4	1	4	42
なかった		1				1	1		1	4
その他										0
無回答						2	2			4
合計	0	6	2	4	11	14	7	1	5	50

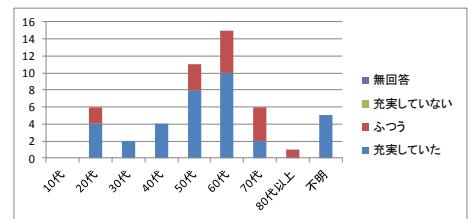


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
あった	14	1	3	8	1	6		8	2	43
なかった	1			1					1	3
その他										0
無回答	3		1							4
合計	18	1	4	9	1	6	0	8	3	50

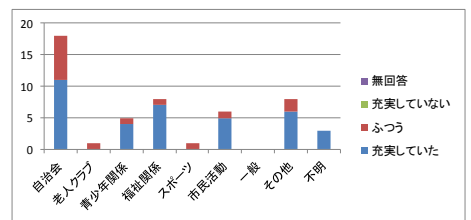


3 地域の課題を、地域の人々の力で解決できることに共感できますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
共感できる		5	2	4	10	12	6	1	4	44
わからない		1			1	2	1		1	6
共感できない										0
無回答										0
合計	0	6	2	4	11	14	7	1	5	50

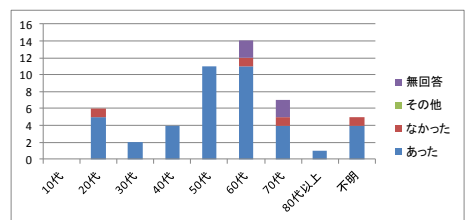


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
共感できる	14	1	4	9	1	6		7	2	44
わからない	4							1	1	6
共感できない										0
無回答										0
合計	18	1	4	9	1	6	0	8	3	50

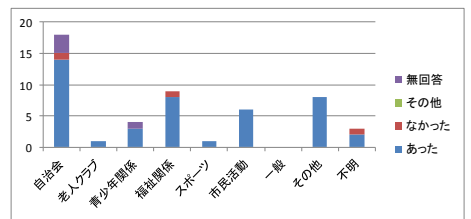


4 有志として、アクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
希望する				2	3	1	3		2	11
迷っている		6		1	6	10	3		1	27
参加しない			2	1	2	2	1		1	9
無回答						1		1	1	3
合計	0	6	2	4	11	14	7	1	5	50



	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
希望する	4		2	3		1		2		12
迷っている	9	1	1	6	1	2		6		26
参加しない	5					2			2	9
無回答				1		1			1	3
合計	18	1	3	10	1	6	0	8	3	50



アンケート回答内容	
Q1. 今回の地域懇談会はいかがでしたか。	
1. 充実していた	35 件
理由	・自治会の活動を振り返るきっかけになった。(自治会に加入するメリットは何か、加入していない人との情報共有) ・この会から何かが生まれてきそうな気がする。 ・見えない部分が少し見えてきそうな気がする。 ・色々な自治会さんも、人数が少なくなったり等の問題を抱えていることがわかった。大学生の若い人達が入ることで、希望的な見方ができた。 ・活発な意見が出た。 ・地域の問題点がわかった。(問題意識) 自治会の色々な問題を聞いた。 ・参加者全員が討論に参加していた。 ・毎回違う人と話すことができる。地域の思いが、今日参加している人たちのように、全市民に広がっていくと良い。 ・全体的に活気があり、とても良かった。 ・自治会の大切さ。 ・グループの方たちのお話が参考になった。 ・いろいろな地区の方と話し合えるのは良い。(意見交換ができ有意義だった) ・各地区の問題点を聞く事が出来た。 ・知らない問題点が多かった。
2. ふつう	15 件
理由	・南平地区、いずみ地区の共通点は、加入者への声かけ。防犯については地域性が異なる。 ・学生の意見が出にくいグループ分けでした。 ・充実していたと思うが、時間的に短く、発表するために結論を出してしまった。 ・話し合いの時間が少ない。 ・若い息吹を感じました。
3. 充実していなかった	0 件
理由	-
Q2. あなたが取り組みたい、やったほうがいいと思ったアクションプランはありましたか。それは何ですか。	
1. あった	42 件
具体的な内容	・防災の一環で炊き出しの訓練をやる。(自治会全員のコミュニケーションにも繋がる) ・防犯パトロール 防犯の取り組み。 ・チラシ 声掛け ・自治会の活性化(加入率アップ) ・見回り(散歩の会)→少し歩く程度でも人と繋がりや地元の人でない人がこの辺を知るきっかけになった。防犯活動のひとつになる。本当にぶらぶらする程度、終わってから自治会でお茶菓子でも出たらよいのではと感じた。 ・あいさつ運動。まず、自宅の周りから声掛け運動をする。 ・仲間を増やし、防犯防止のために声掛け運動を「広報ひの」を使って大々的に行う。日野のスローガンとする。 ・自治会加入率の低い自治会を集めて、加入率を UP する方策を討論してはどうでしょ

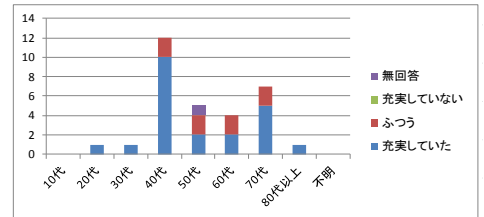
	- うか。 ・地域のつながりが大事。 ・空き家をリフォームして大学生のシェアハウス。 ・見回るパトロールなど（これがあれば、幅広い方が参加できる） ・Aグループでの散歩案 市役所での自治会紹介。 ・防災の不安で、いつ発生するかわからない地震災害について知識が少ない。 （不安であることについて、もっと充実した話ができればと思う。） ・防犯、パトロールの充実をさらに図って行きたい。 ・高齢者対応 防災についての対応 ・大学生に「空き家」を提供できるのは良いことだと思う。 ・老人会の参加、地域交流を図ろう。 ・学生（Or 大学）との話し合いで活性化につながる道ができるような気がする ・災害が起こった場合について、避難場所（小学校）対象の自治会の連絡会を作ったら良い。 ・高齢化の中、地域には大学が多数あるので、学生と協力した地域を作っていきたい。 ・お元気な高齢者の活用 ・少子高齢化への対応策と活性化、防犯、防災、子育て ・地域の中に活動できる場所を作っていく
2. なかった	4 件
具体的 な内容	-
Q3. 地域の課題を、地域の人々の力で解決することに共感できますか。	
1. 共感できる	11 件
理由	・様々なアイデアが出るし、アイデアを実現する力にもなる。 ・行政に任せないで、市民で解決していかなければいけない時代。 ・自分の住んでいる家の周辺だけでは解決できなくても、七生中地域になると、何かできることがあるかもしれない。 ・協力体制が取れるのか？ ・他の地域の人ではわからないし、自治会だけでは限界があるため、むしろ何か感じているなら変わっていくのは自分たちでやりたいから。 ・身近な問題である。 ・私のような地域以外の学生も参加したい。 ・地域の人の方が細やかな対応ができると思う。 ・これだけ多くの心ある方がおられるおとが分かりました。私どもの団体も地域つながりのお手伝いをしたいと考えております。 ・世代によって考え方は違うと思う。しかし、それぞれが地域をよくしていこうといった気持ちは同じである。 ・地域で課題を解決することが必要 （地域の課題は地域で解決する為の行動を起こさないと解決できないので、地域の人々に力で解決できることは良いと思う。） ・地域の住民が積極的に対応できるようにお願いいたします。 ・共通の課題だから。 ・単独ではできないことも、コラボレーションして可能なことも多い。

	・市民に対し、市や警察が関わるのは限られるので、まず市民から解決することが必要と思う。 ・その街その街の一番の課題を掘り下げ成功例をたくさん創り、他地区への参考とする。 ・地域の問題を自ら意識できる。
2. わからない	6 件
理由	-
3. 共感できない	0 件
理由	-
Q4. 有志としてアクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか。	
1.参加を希望する	11 件
2.迷っている	27 件
3.参加しない	9 件
無回答	3 件
Q5. 今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。	
内容	・隣同士の自治会の情報共有の場としてほしい。 ・今年度は、何か形ができればと思います。 ・川辺堀之内、地域性が特殊？（お寺の檀家・神社の氏子）用水組合、区画整理の組合等組織が多い。 ・氏子会の行事に協力することで、世代を超えた交流がある。（祭り） ・PR 活動が不足している（自治会）。 ・「とんとんとんがらりっと隣組」と言ううたがあります。自治会にぴったりの歌だと思います。Web を検索してみて。 ・地域との意見交換はあった方がよい。 ・市の活動の基本は自治会だと思います。自治会加入対策を真剣に考えては。 ・地域の市民のつながりを大切にしてほしい。 ・年配の人達の活躍が目立った。多世代が頑張っているなあと思っている。 ・今後の展開が楽しみです。 ・学生を各グループに入れるのではなくて、学生だけのグループを作ってみてはどうか。いい意味でも悪い意味でも学生は無知、グループに入ってしまうと上の人の顔色を伺って発言できない場合もないとはいいきれない。それは地域交流という面では反しているとは思いますが、一人一人の学生の生かすためには必要だと思う。でも、話を聞いて楽しい地域だと思いました。 ・時間的に少し短かった気がします。 ・初めての参加でしたが、意識の高い方が多くおられることに共感もてます。良かったです。 ・良かった。これからも続けるべきである。 ・若い人達が結ばれるように何か考えてほしい。 ・今回出ました案に市のバックアップを期待します。 ・たくさんの課題で時間内では、話しきれない。1 回ごとに 1 つの課題をもう少し具体化し、徹底討論をすべきと考えます。 ・毎回グループが変わるのもいいですが、今後提案されたことを深めるなら固定化も必要ではないでしょうか。

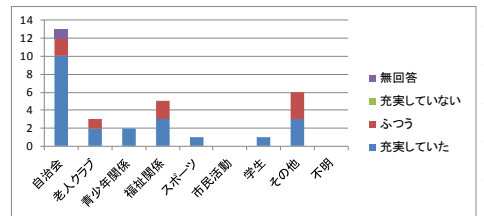
3. 三中地区

1 今回の地域懇談会はいかかでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた		1	1	10	2	2	5	1		22
ふつう				2	2	2	2			8
充実していない										0
無回答					1					1
合計	0	1	1	12	5	4	7	1	0	31

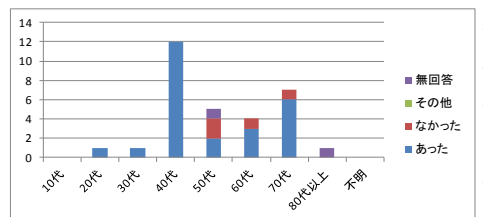


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
充実していた	10	2	2	3	1		1	3		22
ふつう	2	1		2				3		8
充実していない										0
無回答	1									1
合計	13	3	2	5	1	0	1	6	0	31

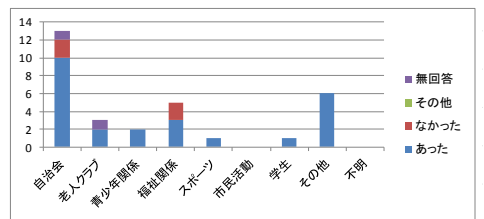


2 あなたが取り組みたい、やった方がいいと思ったアクションプランはありましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
あった		1	1	12	2	3	6			25
なかった					2	1	1			4
その他										0
無回答					1			1		2
合計	0	1	1	12	5	4	7	1	0	31

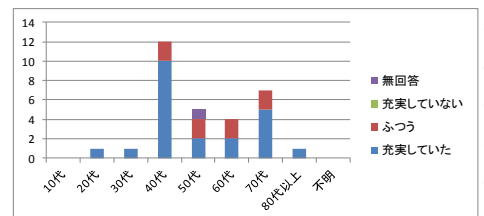


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
あった	10	2	2	3	1		1	6		25
なかった	2			2						4
その他										0
無回答	1	1								2
合計	13	3	2	5	1	0	1	6	0	31

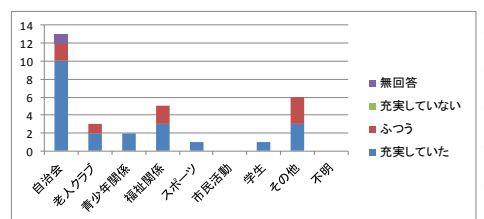


3 地域の課題を、地域の人々の力で解決できることに共感できますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
共感できる		1	1	12	4	3	7	1		29
わからない					1	1				2
共感できない										0
無回答										0
合計	0	1	1	12	5	4	7	1	0	31

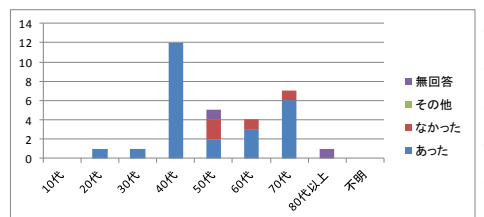


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
共感できる	12	3	2	4	1		1	6		29
わからない	1			1						2
共感できない										0
無回答										0
合計	13	3	2	5	1	0	1	6	0	31

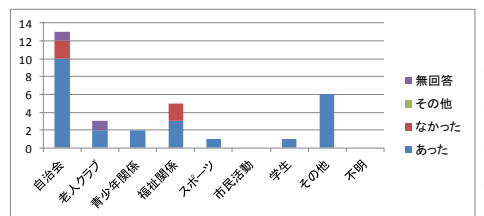


4 有志として、アクション案を形にしていける会議への参加を希望されますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
希望する		1		1	1		4			7
迷っている				5		3	2			10
参加しない				5	3			1		9
無回答			1	1	1	1	1			5
合計	0	1	1	12	5	4	7	1	0	31



	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
希望する	2	2		1			1	1		7
迷っている	5		1	1	1			2		10
参加しない	6	1	1					1		9
無回答				3				2		5
合計	13	3	2	5	1	0	1	6	0	31



アンケート回答内容	
Q1. 今回の地域懇談会はいかがでしたか。	
1. 充実していた	22 件
理由	・ 三中地区にお住まいの人の意見が聞けた。 ・ 色々な方にお会いでき、お話をうかがえて大変良かったです。 ・ 参加された方々の積極的な意見が聞けた。論点が明示されており、各自が意見を積極的に述べられた。 ・ MCATの学生さんの協力、活動や地域の情報を共有していく事ができたから。 ・ 色々な考えや意見のやり取りを他の団体の方とできて良かった。 ・ テーマが大きすぎる。 ・ 他の地域や団体の方の活動や課題などを知る機会ともなり、良かった。 ・ 色々な話が聞けたので良かった。 ・ 共通の問題点を出して、解決に向けてプランニングを具体化していく。 ・ 他の地域、分野の方と話すことができた。 ・ 発言が活発、情報共有ができた。立場をこえた方々と顔見知りになれた。 ・ 意見が活発に出ていた。 ・ 発言事項が多く、参考になった。 ・ どんな会なのか不安な気持ちで参加しましたが、どの自治会も悩みは同じなのだと改めて思いました。 ・ いろんな角度からの意見交換が良い。
2. ふつう	8 件
理由	・ 時間が足りなく、つっこんだ話ができない。テーマ広すぎ。 ・ 活発な意見が出たが、少し深まらなかった。 ・ 皆さんが抱えている問題について共有できた。 ・ 自治会等、若人も参加して頂ければ。子育て世代の親も。
3. 充実していなかった	0 件
理由	-
※無回答	1 件
内容	・ 他の自治体の問題がわかったのでためになった。
Q2. あなたが取り組みたい、やったほうがいいと思ったアクションプランはありましたか。それは何ですか。	
1. あった	25 件
具体的な内容	・ 掲示板の活用。大学側にも交渉し、学内にも置けないか、その代わり地域に大学生の情報発信ができる掲示板を置けないかと考えた。 ・ 世代間交流 ・ 自治会の役員の方々も高齢となっており、様々なサポートができる協力者の発掘が重要との意見。 ・ 地区センターでの学習塾（子ども×高齢者＋大学生） ・ 自治防災のとりくみ。 ・ 世代間交流ができる“たまり場” ・ 地区センター以外の集まりの場（たまり場）作り。 ・ 既にいくつもの集まりがあるので、世代を超えた交流の場を作っていきたい。 ・ たまり場を作りたい。

	・色々な情報の発信方法の検討（ホームページ、掲示板、回覧） ・自治会と別に地域のことを考えるチームをつくる。 ・地域で楽しめるイベント。 ・健康は自分で出来る事を具体的に示す！ ・サロン（たまり場）の立ち上げ（協力）、育成会・子供会・自治会などの集会に出て顔を見える関係性。 ・たまり場 ・あいさつ、見守り ・自治会同士の交流 ・役員の当番の決め方 ・近隣の自治会の方々と一緒に防災訓練をする。 ・小規模の自治会同士等の繋がり（共催の活動） ・防災・防犯 ・地域コミュニティサロン
2. なかった	4 件
具体的 な内容	・自主防災組織のとりくみを考えている。 ・具体的なものがなかった。
※無回答	2 件
Q3. 地域の課題を、地域の人々の力で解決することに共感できますか。	
1. 共感できる	29 件
理由	・そこの地域に住んでおり、地域のことを一番わかっている・思っている人たちだから。 ・運営等、色々なアイデアが出てきてすばらしい、楽しい。 ・自分の身は自分で守ることを実行したい。 ・根本的には皆同じ問題を抱えているので。 ・地域で解決できなければ継続できないし、新たな課題に対応できない。 ・共感出来るが、自治会とは別に組織化しないと継続するのが大変になるので、別にNPO法人的なものを作るために努力する。 ・各班も、問題点が同じで、困っていることも同じであったため。 こまっている事が為。 ・まずは地区の交流が大切。子供会や老人会の人々が共に参加出来る事を考える。 ・どこかに任せるのではなく、主体的に地域性を出して解決していくことが一番合っていると思います。 ・人とのつながりが必要です。自分のこととして考える事でしょう。 ・地域で起こっている困り事は、地域の人にしか分らないので。 ・人とのつながりのあり方を工夫すること。 ・人と人とのつながりを持つことは難しい世の中ですが、防災のイベントなどを通して少しずつ広げていければと思います。 ・行政の補佐も少し必要
2. わからない	2 件
理由	-
3. 共感できない	0 件
理由	-
Q4. 有志としてアクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか。	

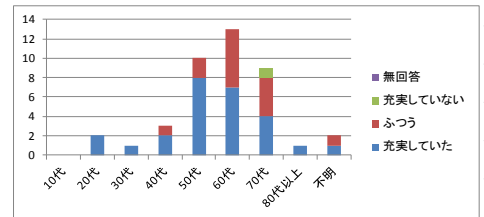
1.参加を希望する	7 件
2.迷っている	10 件
理由	・ 隣の地区を見たりするもの必要かと感じたから。
3.参加しない	9 件
無回答	5 件
Q5. 今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。	
内容	・ 他の場所の様子も1、2回といわず知りたい。固くなりがちのため、お茶菓子などを用意し、ラフにやることも有りではないかと感じた。 ・ 大変勉強になりました。ありがとうございました。 ・ 良い企画だと思います。お疲れ様でございました。 ・ 案内書に「次第」を入れていただくとありがたいです。 ・ さけられない少子高齢化どう対応するか。 ・ グループごとの話し合いを始める前に、その後の流れをもう少しだけ詳しく丁寧に話してもらった方が良いと感じました。 ・ 問題点が多く出たが、解決方法の項目が少なかった。 ・ グループでの懇談会のやり方は良いと思います。 ・ 定期的に実施してほしい。 ・ 皆さんと交流し、いろいろな意見を聞くことができ有意義な時間でした。



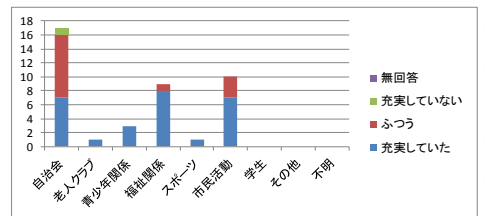
4. 一中地区

1 今回の地域懇談会はいかがでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた		2	1	2	8	7	4	1	1	26
ふつう				1	2	6	4		1	14
充実していない							1			1
無回答										0
合計	0	2	1	3	10	13	9	1	2	41

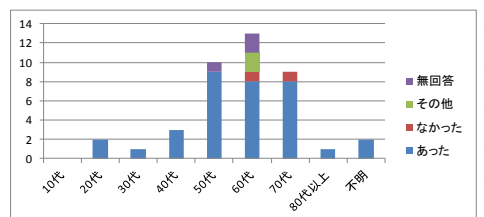


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
充実していた	7	1	3	8	1	7				27
ふつう	9			1		3				13
充実していない	1									1
無回答										0
合計	17	1	3	9	1	10	0	0	0	41

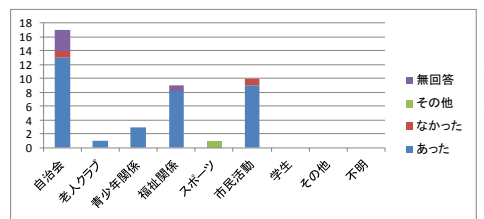


2 あなたが取り組みたい、やった方がいいと思ったアクションプランはありましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
あった		2	1	3	9	8	8	1	2	34
なかった						1	1			2
その他						2				2
無回答					1	2				3
合計	0	2	1	3	10	13	9	1	2	41

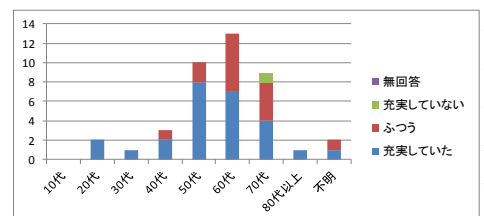


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
あった	13	1	3	8		9				34
なかった	1					1				2
その他					1					1
無回答	3			1						4
合計	17	1	3	9	1	10	0	0	0	41

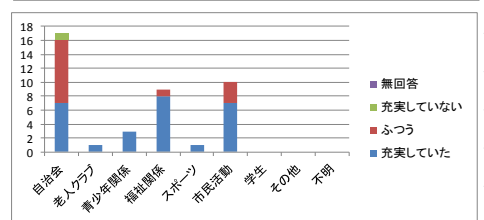


3 地域の課題を、地域の人々の力で解決できることに共感できますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
共感できる		2	1	3	10	10	7	1	2	36
わからない						2	2			4
共感できない						1				1
無回答										0
合計	0	2	1	3	10	13	9	1	2	41

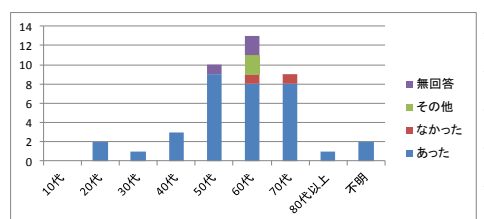


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
共感できる	13	1	3	8	1	10				36
わからない	3			1						4
共感できない	1									1
無回答										0
合計	17	1	3	9	1	10	0	0	0	41

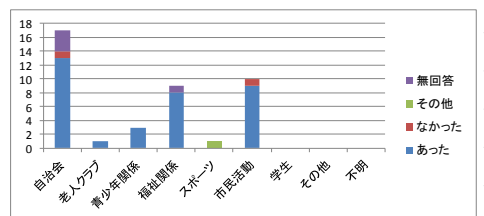


4 有志として、アクション案を形にしていくなかで会議への参加を希望されますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
希望する				1	3	5	1	1	1	12
迷っている		1			2		2		1	6
参加しない		1	1	2	4	7	6			21
無回答					1	1				2
合計	0	2	1	3	10	13	9	1	2	41



	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
希望する	4		2	1	1	4				12
迷っている	3	1		1		1				6
参加しない	10		1	5		5				21
無回答				2						2
合計	17	1	3	9	1	10	0	0	0	41



アンケート回答内容	
Q1. 今回の地域懇談会はいかがでしたか。	
1. 充実していた	26 件
理由	・地域の知らなかった動きが見えた。 ・「コミュニティ」について多くの見方があるのを知った。 ・色々なアイデアを得た。 ・みなさんがご自身の立場からのいろいろな意見を聞いた。 ・参加者（社協、NPO 法人子育てパートナー、NPO 法人子どもへのまなざし、包括）の方々の見る角度の違いにより、自分の考え方を見直した方が良い意見もあった。 ・今まで関心がなかったが、自治会役員になったことから意識を変え参加した。色々な意見があり有意義だった。 ・地域での新たな取り組みを知ることができた。 ・すでに地域で活動している方々の想いを聞けて、とても充実していた。 ・具体的な多くの意見が出た。 ・いろいろな課題が出され、考えさせられた。 ・参加人数が多く、意見が活発。市民力がある。 ・意見もたくさん出て、それぞれの見解、立場から参考になる話が聞けた。 ・グループ討議で様々な立場からの意見が聞けた。 ・各自治会で苦労されていることが理解できた。 ・コミュニティについて考えるチャンスになった。情報共有にもなりえた。 ・はじめはぎこちなかったが、だんだんみなさんの話が深まっていき、興味深いお話がたくさん聞けた。
2. ふつう	14 件
理由	・私自身が今抱えている事柄と、みなさんの意見が合わず共有できなかったが、みなさんのお話を聞いたことは良かった。 ・毎回出る課題は同じであると思ったが、新しい意見もあり良かった。 ・いろいろな意見が出て良かった。 ・「なぜ自治会員が減るのか？」をさらに踏み込んで「なぜ、なぜ」を深掘りする時間が欲しかった。時間足らず。 ・テーマをひとつに絞った方が良い。 ・会だけで終わることなく、内容を市民へ知らせて、意見等を聞く場ができれば良い。 ・毎回あがってくる問題が同じ。解決策までいかない。 ・課題解決に向けた掘り下げがまいち。 ・今まで思いつかなかったアイデアが出た。
3. 充実していなかった	1 件
理由	・毎回出る問題点は同じで、繰り返している。解決策の見本やアドバイスが欲しい。（他所を参考にしたい）
Q2. あなたが取り組みたい、やったほうがいいと思ったアクションプランはありましたか。それは何ですか。	
1. あった	34 件
具体的な内容	・若い人との交流（自治会、老人会） ・自治会との協力 ・転入者への行政の対応（第一歩）

	・地域の人々との交流と意見交換。（テーマは、これから絞っていききたい） ・転入者が最初に関わった市役所から自治会を紹介する。 ・防災訓練を複数の団体で行う。 ・田植え等、子どもとの交流 ・「仲田の森」での炊き出し訓練 ・子ども会だけではなく大人も交えたラジオ体操 ・まつりを多く行う。 ・組単位の懇親会 ・水と緑の町を標榜しているにもかかわらず、まだまだ水路など、清掃や整備の点で問題がありすぎる。 ・障害者と地域の人と MIX で防災イベントを行う。 ・複数の自治会が連合して行事を開催する。 ・コミュニティの充実への提案と参加、協力。 ・おせっかい活動 ・同好会の活動 ・30代40代の人達をサポートとして取り組む。 ・自治体の情報を市を通して転入者に知らせる。 ・地域でラジオ体操 ・新しい人との交流の方法が参考になった。 ・地区センターの有効活用とコミュニティへの参加。“えんがわサロン” ・他グループから「日野市へ転入時に自治会の紹介云々等」の提案があったが、これは良い。市としての対応回答をお待ちします。 ・自治会での朝の体操の実施 ・若い人の力の活用 ・自治会に支援ボランティア制を作る。 ・転入者と自治会長が面談することにより、加入率アップをはかる。 ・仲田の森のふれあいデイキャンプ（子ども達とのふれあい企画を見たい）
2. なかった	2 件
具体的な内容	-
※番号に○がない意見	1 件
具体的な理由	・おせっかいの輪（和）
※無回答	4 件
Q3. 地域の課題を、地域の人々の力で解決することに共感できますか。	
1. 共感できる	36 件
理由	・当然の事だと思う。 ・みなさんの持つ問題を共有することが必要だと思う。 ・一人では出来ない事も、沢山の意見が出る事により、課題が分かりやすくなっていくと思う。 ・皆同じような課題があり、共感できる。 ・自分たちで住みやすい町を作っていこうという意識が、少しずつ変化を生んでいくと思う。

	・問題探しをすることに意味もあるが、今あるものに目を向けていくことも大切だと思う。 ・他にできる人がいない。 ・地域の問題は地域の人々がよく知っていると思う。 ・何でも共に考えることに意味がある。(課題を共有し、その解決を考える) ・主体的に生きればわがままも通りやすい？ ・意志の統合、協調性のアップ。 ・様々な職業、生活の中で、それぞれの意見がきける。 ・独居、老老介護が増している中、地域の輪を作っていく必要がある。 ・地域には様々な知恵や力を持つ方がいらっしゃるので。 ・自地域のみでなく、他地域との共同での解決実施も良いと思う。 ・役員だけで出来るものではないので、みんなで力を合わせて地域力を高めることが出来ると良い。 ・地域の人が自ら参画しなければ。 ・多くの自問自答している方々と一緒に対話すること。 ・公共に頼るのではなく、住民自身が課題を解決することが意義のあることだと思う。 ・妙案をお聞きし、共に前進したい。
2. わからない	4 件
理由	・行政サービスが行き届いているので、自治会がやることがない。 ・若人と高齢者の交流の場を設け、いかに各人がそこに飛び込むか。 ・「自治会加入のメリット、デメリット」を整理出来ない限りわからない。 ・良い指導者がいれば解決は出来る。
3. 共感できない	1 件
理由	-
Q4. 有志としてアクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか。	
1.参加を希望する	12 件
2.迷っている	6 件
3.参加しない	21 件
無回答	2 件
Q5. 今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。	
内容	・今日の出席者で、子どもさんが3人いる方が、地域に自治会、子供会がないと言っていた。市で紹介なり相談にのってほしい。 ・継続して参加していきたいと思う。そして、自治会を越えた交流を望む。 ・初めて出席したが、地域協働課の方々の動き、説明がとても分かりやすかった。 ・大変有益でした。ありがとうございました。 ・課題の事前通知、資料の事前配布（当日の資料説明は時間がもったいないのでは） ・ぜひ高齢者のサロンを訪ねてみたいと思う。 ・存在するだけで充分意義がある。 ・当会としても地域とつながる方法を模索中。自治会とつながっていったらいいのだが…。昨年合同防災訓練を実施したところだ。 ・3年計画としてよく分析もされていらっしゃいます。来年の着地点が楽しみ。 ・年2回の開催と、結果、実績の発表をしてほしい。 ・時間の割り振りなどスムーズに進行していた。

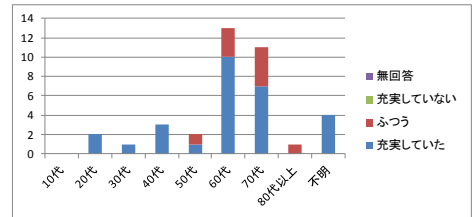
- ・アクションプラン、ワークショップ等、少し専門的な言葉が多く使われていて、意味がわからない人もいたのではないかな。
- ・「各テーブルで懇談」の内容、何を考え、何を話したら良いかわからなかった。もったいない参加の仕方だった。
- ・転入した時に市役所で自治会を知らせる事は良いと思った。ぜひ実施してもらいたい。
- ・自治会に参加させるために、組の親睦、サポーター制度による参加。
- ・自治会だけの場を設定してもらいたい。
- ・お茶くらい出しても良かったのでは？
- ・市民団体と自治会の連携のきっかけができればよいが…。
- ・小グループで話し合う場（解決策）を小部屋でやってほしい。



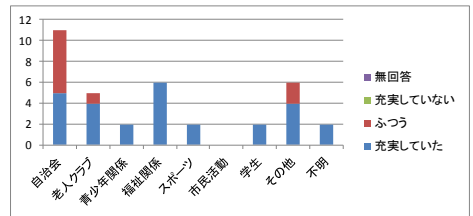
5. 平山中地区

1 今回の地域懇談会はいかがでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた		2	1	3	1	10	7		4	28
ふつう					1	3	4	1		9
充実していない										0
無回答										0
合計	0	2	1	3	2	13	11	1	4	37

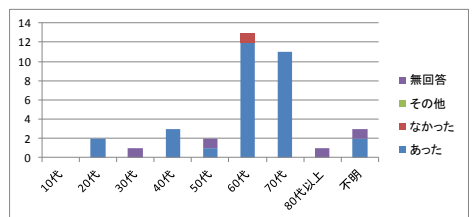


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
充実していた	5	4	2	6	2		2	4	2	27
ふつう	6	1						2		9
充実していない										0
無回答										0
合計	11	5	2	6	2	0	2	6	2	36

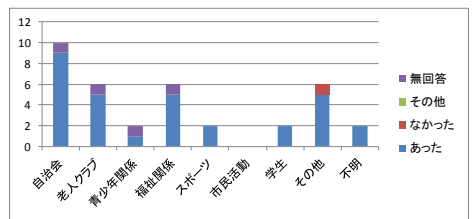


2 あなたが取り組みたい、やった方がいいと思ったアクションプランはありましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
あった		2		3	1	12	11		2	31
なかった						1				1
その他										0
無回答			1		1			1	1	4
合計	0	2	1	3	2	13	11	1	3	36

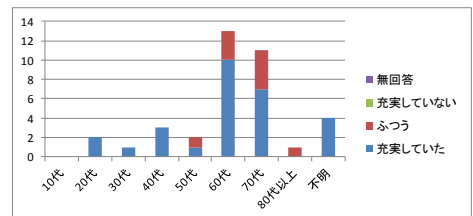


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
あった	9	5	1	5	2		2	5	2	31
なかった								1		1
その他										0
無回答	1	1	1	1						4
合計	10	6	2	6	2	0	2	6	2	36

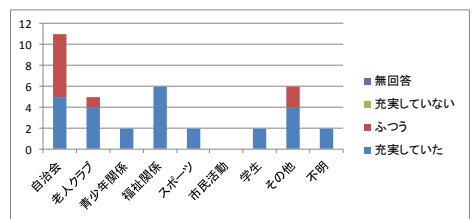


3 地域の課題を、地域の人々の力で解決できることに共感できますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
共感できる		2	1	2	2	11	12		3	33
わからない				1		1		1		3
共感できない										0
無回答										0
合計	0	2	1	3	2	12	12	1	3	36

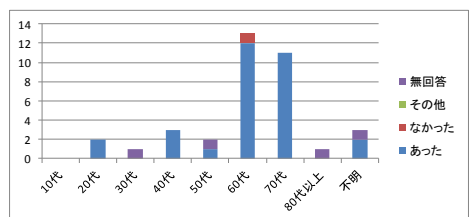


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
共感できる	10	4	2	6	2		2	6	1	33
わからない	1	1							1	3
共感できない										0
無回答										0
合計	11	5	2	6	2	0	2	6	2	36

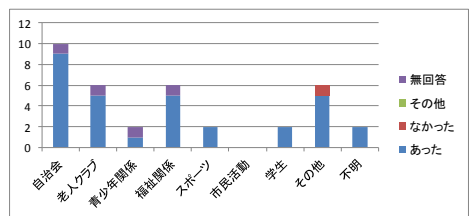


4 有志として、アクション案を形にしていける会議への参加を希望されますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
希望する		1		1		5	4		2	13
迷っている		1		1	1	2	4			9
参加しない			1		1	6	3	1		12
無回答				1					1	2
合計	0	2	1	3	2	13	11	1	3	36



	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
希望する	4	4			1		1	3		13
迷っている	1	1	2	2	1		1	1		9
参加しない	6			4				2		12
無回答									2	2
合計	11	5	2	6	2	0	2	6	2	36



アンケート回答内容	
Q1. 今回の地域懇談会はいかがでしたか。	
1. 充実していた	28 件
理由	・全員の意見が出た。 ・色々な方々の参加があった。 ・多くの人から情報を得られ、共感するところが多かった。(自治会その他の団体・・・) ・なかなか伺う事の出来ない自治会や活動団体の方々から、生きた御意見や思いを伺う事が出来た。同じレベルの方のお話は本当に学びになるから。(生活レベルでの学び) ・話を聞くだけでなく、発言が出来たこと。 ・空き家問題、防災、高齢者見守り、パトロールの必要 ・地域の問題点が見えてきた。 ・地域の方と出会えた。自治会の方とつながることが出来た。 ・様々な方にお会いできたこと。 ・活発に意見が出ていた。・・・残念ながら時間が足りなかった。 ・色々な地域の方との話し合いが出来て良かった。 ・斉藤君との話がとても良かったです。
2. ふつう	9 件
理由	・解りきったことの繰り返し、より一歩進める必要がある。 ・問題は出尽くしているが解決策が見つからない。
3. 充実していなかった	0 件
理由	-
Q2. あなたが取り組みたい、やったほうがいいと思ったアクションプランはありましたか。それは何ですか。	
1. あった	31 件
具体的な内容	・消防団として協力。 ・防災訓練の充実を行って行きたい。 ・防災対策 ・空き家対策です。 ・参加者に何らかのメリットがあるイベント ・近所の子供への挨拶 ・あいさつ運動 子供達とのつながり強化 ・イベント開催による地域への密着、子供と大人（老人）との交流 ・PRと具体的な話が出来た。 ・どのように現役世代をとりこんでいくか、その手段を考察する。 ・防災について ・自治会の問題 ・中学生の地域参加 ・災害時への対応→普段から、このために何かできないかな。 ・今、現在も行っている。子供から高齢者対象のスポーツ指導 ・子育て支援 ・防災パトロールを広く呼びかける（全世代に） ・高齢者支援リストの活用方法について ・児童と老人をつなぐためのボランティア参画

	・自分の地域を知る ・高齢者対策全般 ・自治会、交流の場に参加したい。 ・地域（他自治会）及び学生達との交流 ・空き家を利用した、子どもから高齢者も集える「たまり場」 ・緑化協会が行っている植える草花を子供達に。
2. なかった	1 件
具体的 な内容	・独自のアクションをします。
※番号に○がない意見	1 件
具体的 な理由	・今後の課題だと思います。
Q3. 地域の課題を、地域の人々の力で解決することに共感できますか。	
1. 共感できる	33 件
理由	・防犯上色々と ・行政、自治会単独では対応できないことある。 ・自治会その他の団体との協働も活発化する要ある。 ・今現在は（世代的に）何とか出来るのでは。 ・自分が生きていく町を、共に生きていく「仲間同士」で考察していく事は、未来への責任であると同時に、次代を担うこども達へ残す財産だと考えるから。 ・自分の住む場が土台であるため。 ・災害時に役立てたい。 ・むずかしい問題ですが、皆さんと話し合って行きたい。 ・地域の課題を→地域で解決できる課題に。 ・様々ネットワーク参加 ・住む方のある意味義務だと思います。
2. わからない	3 件
理由	-
3. 共感できない	0 件
理由	-
Q4. 有志としてアクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか。	
1.参加を希望する	13 件
2.迷っている	9 件
3.参加しない	12 件
無回答	3 件
Q5. 今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。	
内容	・続ける事で何かがでてくると思う。 ・続けていただきたい。 ・各グループに自治会からの参加者が少ない。 ・広い団体からの参加となり、良い方向だ。また今回は学生の事例発表も良かった。 ・もう少し密に話ができ、かつ、長く話せるとありがたい。 ・この「地域懇談会」こそが、人と人とのつながりを生み出す起点になっている。是非もっと異世代…中学校の生徒会役員や、保護者レベルで言えば役員など声をかけやす

い若手世代の方々の参加を促し、会を盛り立てる事が一番のアクションプランだと考える。

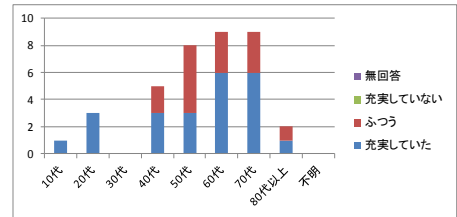
- ・若い世代への広報の手段に工夫を！
- ・3回目程になりますが、積み重ねを大切にしたい。
- ・明星大生と同じように、寮のある中央大生との関わりを求めている。
- ・また機会があったら参加したいと思います。
- ・意見を聞いてくれる場があることは良い。
- ・市当局と各自治会の重要性がよく理解できました。
- ・(別件)「平山中」地区や「自治会」の区分の簡単な地図がほしい。(地域を知る第一歩)
- ・ふらっと参加できる、負担感のないものであれば良いと思います。
- ・発表でもしましたが、次回以降世代を超えて懇談会を開催してほしいと思います。
- ・皆様、企画～実施、大変ご苦労様でした。おかげ様で有意義な時間を頂きました。



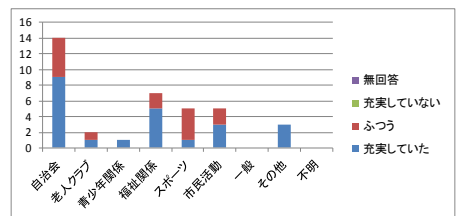
6. 二中地区

1 今回の地域懇談会はいかがでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた	1	3		3	3	6	6	1		23
ふつう				2	5	3	3	1		14
充実していない										0
無回答										0
合計	1	3	0	5	8	9	9	2	0	37

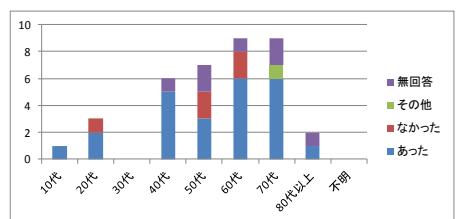


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
充実していた	9	1	1	5	1	3		3		23
ふつう	5	1		2	4	2				14
充実していない										0
無回答										0
合計	14	2	1	7	5	5	0	3	0	37

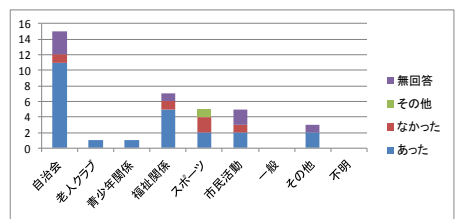


2 あなたが取り組みたい、やった方がいいと思ったアクションプランはありましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
あった	1	2		5	3	6	6	1		24
なかった		1			2	2				5
その他							1			1
無回答				1	2	1	2	1		7
合計	1	3	0	6	7	9	9	2	0	37

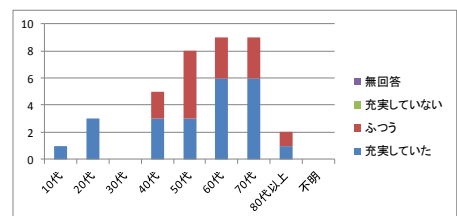


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
あった	11	1	1	5	2	2		2		24
なかった	1			1	2	1				5
その他					1					1
無回答	3			1		2		1		7
合計	15	1	1	7	5	5	0	3	0	37

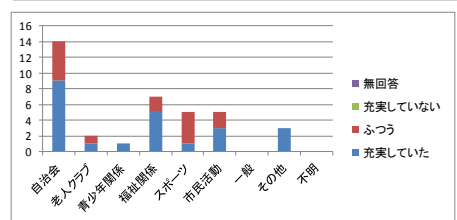


3 地域の課題を、地域の人々の力で解決できることに共感できますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
共感できる	1	3		6	6	8	8	2		34
わからない							2			2
共感できない										0
無回答					1					1
合計	1	3	0	6	7	8	10	2	0	37

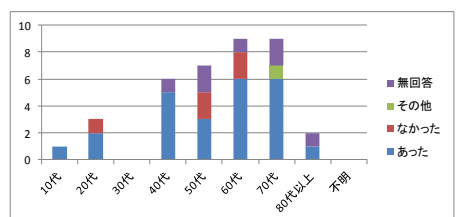


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
共感できる	13	2	1	7	3	5		3		34
わからない	1				1					2
共感できない										0
無回答					1					1
合計	14	2	1	7	5	5	0	3	0	37

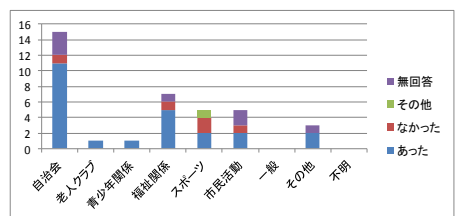


4 有志として、アクション案を形にしていける会議への参加を希望されますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
希望する				2	2	2	1	1		8
迷っている	1	2		1	1		5	1		11
参加しない		1		1	3	7	2			14
無回答				2	1		1			4
合計	1	3	0	6	7	9	9	2	0	37



	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
希望する	3	1		1		3				8
迷っている	4	1		1	2	1		2		11
参加しない	7		1	3	2	1				14
無回答				2	1			1		4
合計	14	2	1	7	5	5	0	3	0	37



アンケート回答内容	
Q1. 今回の地域懇談会はいかがでしたか。	
1. 充実していた	23 件
理由	・地域の様々な意見が聞けたのでとても良かった。 ・昨年から来年に向けての今回の位置付けが明確だった。主旨の説明が理解できた。 ・地域の人からのお話が聞けてよかった。 ・今まで話す機会がなかなかない世代の方の考えや、意見など聞くことができ、私にとってとても刺激になった。 ・話し合いは充実していた。進行役と書記の方の関わりが適切で、万遍なく発言を促していた。 ・各地区の実態把握ができた。 ・地元の具体的な実情が話され、かなり問題点を共有できた。 ・他自治会の経験を聞くことができた。 ・地域の方々と交流、意見交換ができた。 ・色々な地域の方からの情報が聞けた。 ・話し合いが出来て良かった。また各グループの発表が参考になった。 ・暗いという視点（大学生から） ・自治会以外の団体の考えが聞けた。 ・課題に対する発言が自由に出来る雰囲気だった。発言の要点まとめてしてくれた書記に感謝。 ・他の自治会の動きがよくわかった。
2. ふつう	14 件
理由	・なかなか結論が出ない。 ・進め方がよくわからなかった。 ・参加者の方々、なかなか活発な意見が出たが、まとまる迄はいかなかった。 ・時間が足りない。 ・もう少し時間をとれば、ある程度の結論が出せると思えるものもある。 ・たまたま自治会の方が少なく、地域の話が少なめだった。 ・地域におけるコミュニティづくりのヒントにはなった。 ・自治会の活動内容になりがちで、グループ報告も発表者の自治会の内容で、話し合われた内容ではなかった。
3. 充実していなかった	0 件
理由	-
Q2. あなたが取り組みたい、やったほうがいいと思ったアクションプランはありましたか。それは何ですか。	
1. あった	24 件
具体的 な内容	・地域の交流、年代をこえたコミュニケーションの場があるとよい。 ・会のメリットの PR を工夫する。 ・自治会加入率アップに向けた新しい方への説明、挨拶廻りの拡大。 ・自治会の PR ・サークル活動や食事会などの活動を多くやることで、多くの人と関わることができ、情報共有ができるので、取り組んでほしいと思った。 ・強制的な集まりでなく、趣味等をテーマに集まりの場を持つ等。

	・ 共通の趣味や関心で人の集まりを作る。 ・ 花火大会の開催などは、年齢の違いを超えて楽しめると思う。 ・ 日野台自治会の、年一回子ども向けのイベント。 ・ 地域でのおまつり（子ども達や若い人との交流の場） ・ 自治会にどうやったら入ってもらえるか。外に出ない方をどうしたらコミュニティの中に入ってもらえるか。 ・ 自治会同士、つながりを持って活動する。 ・ 交流の場の創出（ぷらっと立ち寄れるもの） ・ 自治会入会、PR、コミュニケーションなど。 ・ 自治会への参加方法。 ・ 自治会との交流を現在行っている。 ・ 年齢を問わず何か交流の場が必要と考えるが、難しくもある。 ・ 自治会のイベントはやっていきたい。
2. なかった	5 件
具体的な内容	・ 時間が少なく、プランまでに至らず残念だった。しかし、この会は意見を出し合い、共有することが第一義なのかもしれない。この話し合いを踏まえて次のステップに進む事が大切だ。
3. その他	1 件
具体的な内容	・ 具体的なツメがまだこれから。
※番号に○がない意見	2 件
具体的な理由	・ 難しい。 ・ 防災、防犯の町づくりの何らかの楽しいアクションを考えなければならない。
Q3. 地域の課題を、地域の人々の力で解決することに共感できますか。	
1. 共感できる	34 件
理由	・ 市の動きが鈍い。 ・ 共感はあるが、行政のバックアップが必要な箇所もあると思う。 ・ 問題点がわかっている人同士で話し合うことができる。 ・ 地域のリーダーをどう育成するか。 ・ 地域のことは地域で、という主体となることは大切だと思う。 ・ このような問題を地域の方と解決することで、人と人のつながりも強まると思うので、必要だと思う。 ・ 地域の人々が face to face で話し合い、共感することから始まると思う。 ・ 地域の住民のコミュニケーションが進めばいいと思う。自治会共催など模索していくことが必要と思う。 ・ 大規模災害が発生した時の事を考えると、日頃から自分達で解決することを心がけるべき。 ・ 自治会や子ども会に加入する人が減っている。防災の面からも人と人のつながりを作っていくことが大切。 ・ 難しい部分もありますが、まずやってみては。 ・ 良い生活環境を！ ・ 共通している課題が多いから。 ・ 共感できると同時に行政側の大きなサポートが必要。

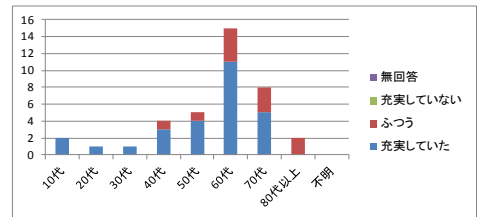
2. わからない	2 件
理由	-
3. 共感できない	0 件
理由	-
※無回答	1 件
※番号に○がない意見	2 件
理由	・無理せず、できる範囲で行えば良い。 ・どちらともいえない
Q4. 有志としてアクション案を形にしていける会議への参加を希望されますか。	
1.参加を希望する	8 件
2.迷っている	11 件
3.参加しない	14 件
無回答	4 件
Q5. 今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。	
内容	・こういった懇談会が定期的にある事で、地域の課題や社会資源発掘につながると思った。 ・発表の時間を守るようにリハをすること。 ・地域の特徴の中から1つを選び、その課題について現状把握、要因解析等掘り下げをし、対策案を出す、という進め方がよい。話が飛んでまとめるに良かった。 ・1グループの人数は5人ぐらいの方が話しやすいと思った。 ・初めての参加で感動だった。色々な地域での問題点も同じ事がわかった。 ・回数を経て、会の内容が洗練されてきた。顔見知りも増えた。 ・人口動態の予測とか、具体的なデータで共通認識を作ることは大切だと思う。毎回、色々なデータを見せてもらいたい。 ・今回は二中地区に参加したが、次回は地元の四中地区に参加したい。 ・各々の意見が聞けて良かった。時間が短かった。 ・ファシリテーターによって、進行が結構違った。もちろん参加者によっても全然違った。 ・おもしろかった。 ・メンバーが楽しかった。



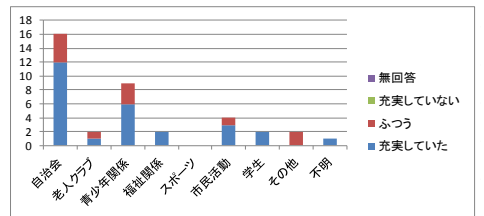
7. 大坂上中地区

1 今回の地域懇談会はいかかでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた	2	1	1	3	4	11	5			27
ふつう				1	1	4	3	2		11
充実していない										0
無回答										0
合計	2	1	1	4	5	15	8	2	0	38

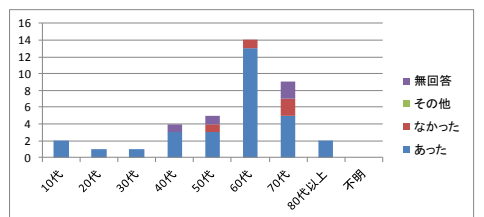


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
充実していた	12	1	6	2		3	2		1	27
ふつう	4	1	3			1		2		11
充実していない										0
無回答										0
合計	16	2	9	2	0	4	2	2	1	38

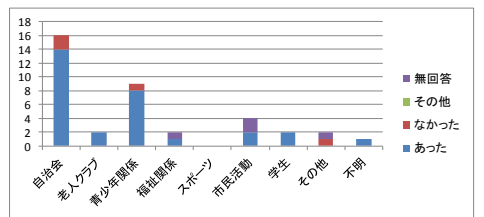


2 あなたが取り組みたい、やった方がいいと思ったアクションプランはありましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
あった	2	1	1	3	3	13	5	2		30
なかった					1	1	2			4
その他										0
無回答				1	1		2			4
合計	2	1	1	4	5	14	9	2	0	38

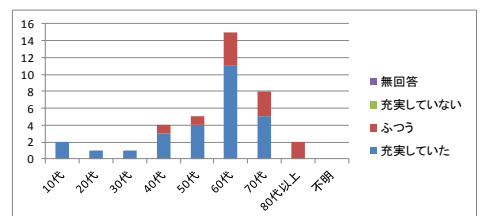


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
あった	14	2	8	1		2	2		1	30
なかった	2		1					1		4
その他										0
無回答				1		2		1		4
合計	16	2	9	2	0	4	2	2	1	38

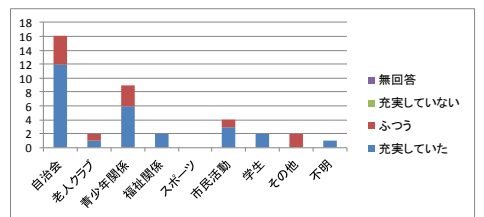


3 地域の課題を、地域の人々の力で解決できることに共感できますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
共感できる	2	1		3	3	10	8	1		28
わからない			1	1	2	4	1	1		10
共感できない										0
無回答										0
合計	2	1	1	4	5	14	9	2	0	38

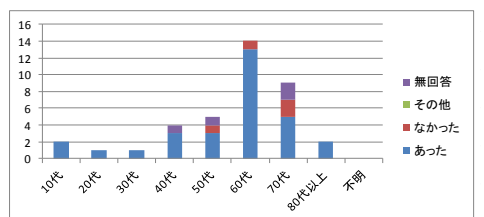


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
共感できる	12	2	7	2		1	2		1	27
わからない	4		2			3		2		11
共感できない										0
無回答										0
合計	16	2	9	2	0	4	2	2	1	38

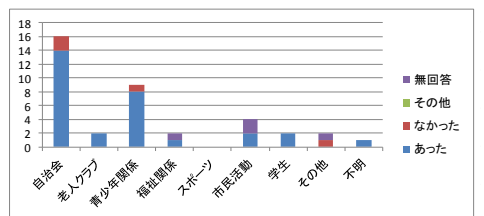


4 有志として、アクション案を形にしていける会議への参加を希望されますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
希望する					1		1			2
迷っている				3		3	2	1		9
参加しない	1		1	1	1	9	6			19
無回答	1	1			3	2		1		8
合計	2	1	1	4	5	14	9	2	0	38



	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	学生	その他	不明	合計
希望する	1					1				2
迷っている	3		4			1		1		9
参加しない	10	1	4	1		2	1	1		20
無回答	2	1	1	1			1		1	7
合計	16	2	9	2	0	4	2	2	1	38



アンケート回答内容	
Q1. 今回の地域懇談会はいかがでしたか。	
1. 充実していた	27 件
理由	・近隣の自治会の方とのコミュニケーションの機会ができ、今後も情報交換が出来るようになった。 ・色々な意見が聞けた。 ・また顔見知りの方が増えた。 ・日野市の現状を日野市に住む方の生の声として聞くことができ、貴重な経験になった。 ・色々な人の意見を伺うことができた。 ・大坂上都営住宅自治会長のお話がとても勉強になった。 ・様々な意見が聞けた。 ・参加自治会の方から色々具体的な話が出て、課題がより明確になった。 ・初めての参加であったが、これからの活動の参考になった。 ・他の地域の方の話が聞けて大変良かった。 ・熱心であった。 ・他地域の方の活動内容がわかった。 ・自治会、消防団、市役所、大学生、民生委員と様々な立場の人たちが集まり、色々な視点があると感じました。 ・活発な意見 ・地域での関わり方や防災時の対応に活用できる意見が多数あり、参考になりました。 ・他の自治会活動を聞く事ができ、参考になった。 ・大坂上都営住宅自治会の話にとっても共感しました。 ・グループ分けで懇談がスムーズに出来た。 ・意見が多く出た。 ・種々、自分と異なった意見が参考になった。 ・活発な意見が多く見られた。 ・それぞれの立場での問題点・解決してきたことが話し合われた。
2. ふつう	11 件
理由	・高齢者への支援の話が少なく、自分も伝えることが出来なかったと思った。 ・色々な会議に出ているが目新しいものがなかった。
3. 充実していなかった	0 件
理由	-
Q2. あなたが取り組みたい、やったほうがいいと思ったアクションプランはありましたか。それは何ですか。	
1. あった	30 件
具体的な内容	・高齢 ・雪かき隊が良いと思う。 ・声かけ、子育て世代支援（子守り） ・大坂上都営住宅自治会が参考になった。 ・立川防災館の防災訓練の情報 ・最低限必要な活動に絞り、プラスαでやりたいものは有志でボランティアでおこなう。 ・子育て世代のために空家を活用し、子どもの面倒をみること。子育て世代は忙しいので、自治会に入るのも、イベントに参加することも難しく感じる人が多いと思うので、

	子育て世代が助かることを行えば地域がつながれると思った。 ・ 敷居を低くして、多くの方に参加いただく仕組み ・ 一日ボランティアの活用 ・ 防災・状況をつかむ。 ・ 防災組織のあり方、個人情報の問題点 ・ 地域の高齢者がつどえる場や活動をやりたいと思う。難しいと思うが、呼びかけができればよい。 ・ ご近所の集まり ・ 地域防災 ・ 車イスを自治会でストックすること。 ・ 小学校入学時のお祝金 ・ 災害時に誰でもわかる（対応できる）簡単なマニュアル作り、家庭環境の把握 ・ 地域での雪かき隊編成等 ・ 防災訓練 ・ 地域行事（季節イベント） ・ 自治会の自律化（格上げする） ・ 雪かき隊 ・ 自主防災について ・ 防災に関し具体的な避難所の場所や面積等について再検討 ・ 高齢化の問題（自分が行く道なので） ・ 高齢化対策 ・ 子供、老人の集まる場所の確保
2. なかった	4 件
具体的 な内容	-
※無回答	4 件
Q3. 地域の課題を、地域の人々の力で解決することに共感できますか。	
1. 共感できる	28 件
理由	・ 防犯上色々と ・ 顔見知りができ、人の輪、つながりができて良いと思う。 ・ 自分も地域の一員なので住んでいるエリアを良くしたい、楽しくしたいので。 ・ 地域の力は大切 ・ 近隣の代表のコミュニケーションがとれること。 ・ 積極的に強い意識があった。 ・ 自治会の継続 ・ やはり地元民の方が普段の状況などの情報が多いこともあると思います。 ・ 地域だけでは難しいと思うが、一番関わりのあることなので。 ・ 自治会の機能を有効に活用 ・ 同じような課題であるから。 ・ 自分たちの問題として意識したことが一つの解決方法になる。
2. わからない	10 件
理由	-
3. 共感できない	0 件

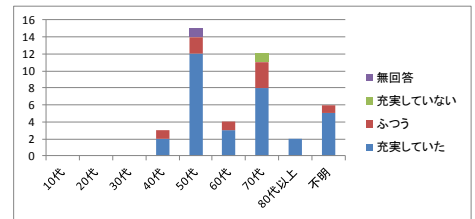
理由	-
Q4. 有志としてアクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか。	
1.参加を希望する	2 件
2.迷っている	9 件
3.参加しない	12 件
※番号に○がない	1 件
Q5. 今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。	
内容	・高齢者の移動手段に困っている人が増えています。バスルートを考えていただき、楽しく活動する環境になったらいいと思う。 ・個人情報の問題もあるが…、参加者の了承あれば参加者名簿をつくって配布してもいいのでは？ ・よい機会提供ありがとうございました。 ・どんな方が参加されているか、お互いが分かるような名簿があるといいなと思いました。（あの席の人、顔は分かるが名前が…という場合なども挨拶しやすい。） 知り合いがどんどん増えるきっかけになると思います。いつも同じテーブルの方の名前を書きとめるのに必死で自己紹介の中身が聞けないので。 ・地域の活性化には良い会だと思いました。 ・リタイアしたら地域貢献に尽力したいと感じました。 ・とても有意義だった。 ・大変おもしろかった。 ・同様の内容で良いと思う。 ・かなりコアな内容になってきましたネ ・初めてこういうことが行われていることを知りました。PRが不足していると思いました。 ・肩を張らずに力を抜いて。



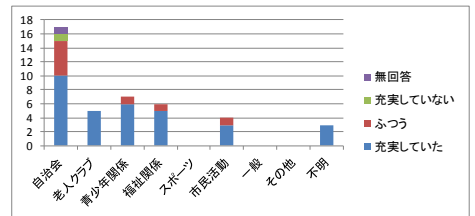
8. 四中地区

1 今回の地域懇談会はいかがでしたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
充実していた				2	12	3	8	2	5	32
ふつう				1	2	1	3		1	8
充実していない							1			1
無回答					1					1
合計	0	0	0	3	15	4	12	2	6	42

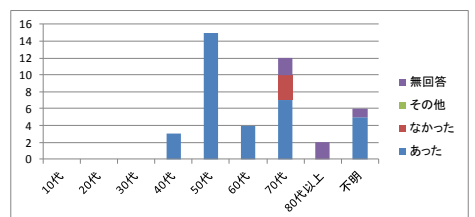


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
充実していた	10	5	6	5		3			3	32
ふつう	5		1	1		1				8
充実していない	1									1
無回答	1									1
合計	17	5	7	6	0	4	0	0	3	42

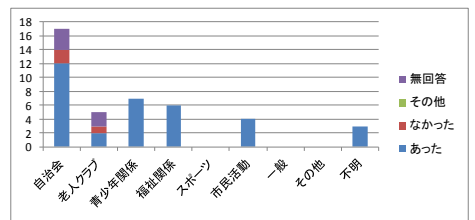


2 あなたが取り組みたい、やった方がいいと思ったアクションプランはありましたか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
あった				3	15	4	7		5	34
なかった							3			3
その他										0
無回答							2	2	1	5
合計	0	0	0	3	15	4	12	2	6	42

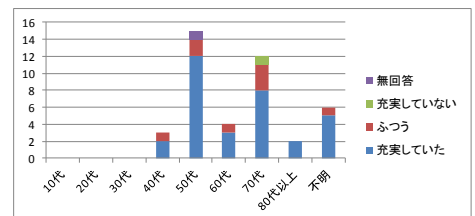


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
あった	12	2	7	6		4			3	34
なかった	2	1								3
その他										0
無回答	3	2								5
合計	17	5	7	6	0	4	0	0	3	42

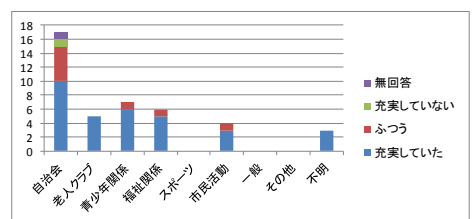


3 地域の課題を、地域の人々の力で解決できることに共感できますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
共感できる				3	15	4	8	2	4	36
わからない							3		2	5
共感できない										0
無回答							1			1
合計	0	0	0	3	15	4	12	2	6	42

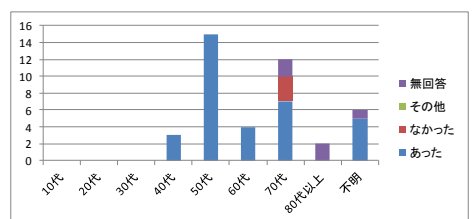


	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
共感できる	14	5	7	5		3			2	36
わからない	3			1					1	5
共感できない										0
無回答						1				1
合計	17	5	7	6	0	4	0	0	3	42

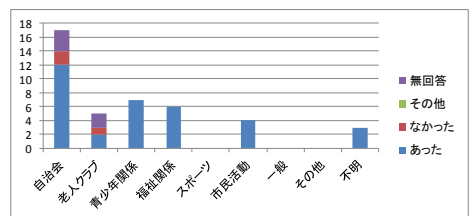


4 有志として、アクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか？

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合計
希望する					1					1
迷っている				2	3	1	5	2		13
参加しない				1	5	3	5		3	17
無回答					6		2		3	11
合計	0	0	0	3	15	4	12	2	6	42



	自治会	老人クラブ	青少年関係	福祉関係	スポーツ	市民活動	一般	その他	不明	合計
希望する				1						1
迷っている	4	3	4	1						12
参加しない	10	2	3			1			1	17
無回答	3			4		3			2	12
合計	17	5	7	6	0	4	0	0	3	42



アンケート回答内容	
Q1. 今回の地域懇談会はいかがでしたか。	
1. 充実していた	32 件
理由	・全体的に時間が少なかったが、今回は以前より若干多かったので、その分話題が多く出せた。 ・皆さんと知り会えてよかったです。 ・自治会長さんや老人会の方の努力、熱心な姿はすばらしいと感じました。 ・様々な意見が聞けた。 ・楽しかった。 ・時間は足りない。 ・たくさんの意見が出された。 ・多くの意見がでて、それぞれ共有できました。 ・いろいろな人の意見を聞いて、非常に参考になった。 ・10年ぐらい前は、後向きの会合だった記憶があるが、今回は前向きな会合となっていた。 ・このような話し合う場を持つことはよい。 ・他自治会、他団体の方と知り合えた。意見交換ができた。 ・各町会の悩み、実施例、参考になった。 ・様々な意見が活発に発言できた。 ・グループ別で意見交換が出来、良かったです。 ・初めての参加でとまどいしましたが、お互いの話が充実していて大変参考になりました。 ・悩みを共有することができた。大変勉強になりました。 ・実は耳が不調で、話の半分は理解困難状態のため誠に不安。 ・新たな交流が出来たと思う。 ・今回も素敵な出会いがありました。
2. ふつう	8 件
理由	・回を追う毎に充実してきたと感じる。 ・討論の時間が少ない。 ・グループ毎の懇談時に参加者の視点で考える問題点について聞く時間があると良かったなあ。
3. 充実していなかった	1 件
理由	・参加団体の性格が違っていただけに、問題点の集約が難しい。
Q2. あなたが取り組みたい、やったほうがいいと思ったアクションプランはありましたか。それは何ですか。	
1. あった	34 件
具体的な内容	・魅力ある組織作り（自治会、老人会等） ・あいさつ、連携、イベントサロンの広報 ・地域の活動を世代で分けるような仕組みをどうにかしないと、こども会老人会一つにしてしまえば…。 ・若い世代があまり加入が無いところは、地域に住んでいるPTA会員を組織的に組み込める気がしました。六小はPTA傘下に子ども会を16地区活動している。 ・あいさつ運動 ・あいさつ、自治会連携

	・楽しい反省会、懇親会は大切だと思う。 ・周辺自治会との関係 ・楽しい行事と楽しい反省会 ・あいさつからの関係づくりと、「楽しい」から始まる楽しい反省会。 ・あいさつ（子ども達にも包括支援センターを理解して頂きたい）助けをもとめられる安心な場所として。 ・日常の居場所作り ・サロンなどの居場所作り ・年に一度、全戸回り、自治会への加入を勧める。 ・あいさつ、楽しい行事と楽しい反省会。 ・居場所づくり ・楽しい反省会 ・あいさつ運動、居場所づくり（一過性のイベントだけではなく…） ・自治会の連合会的なもの ・非自治会員宅を訪問 ・各家族になって来ている為、楽しい交流会を持っていきたいです。 ・楽しい行事と楽しい反省会 ・自治会でのイベントの実施 ・「あいさつ運動」 ・あいさつし合う大切さを子供から大人まで伝える。 ・年1回の自治会戸別訪問
2. なかった	3 件
具体的な内容	-
※番号に○がない意見	5 件
具体的な理由	・あいさつ、取り組んでいたが不十分
Q3. 地域の課題を、地域の人々の力で解決することに共感できますか。	
1. 共感できる	36 件
理由	・できなければ諸問題の解決なし。 ・必要性が有るから。 ・地域のことは地域の人自身で考えるべき。 ・年齢層に関係なく楽しく暮らせるよう考えている方々の集まりを感じた。 ・他地域の人々とコミュニティの場所がほしい。 ・当然のこと。 ・共通の課題意識があると感じた。 ・結局、少子高齢化は地域で見守りするしか道はないので、人と人とのつながりなしでは対応しきれないので。 ・コミュニティなしではより良い住環境は作れないし、維持できない。 ・高齢者の問題については、より切実な事として行政がもっと踏み込んで欲しいと思う。
2. わからない	5 件
理由	・情報量が不足しているので課題が見えません。

	・高齢者が多くなって来ている為。
3. 共感できない	0 件
理由	-
4. 無回答	1 件
Q4. 有志としてアクション案を形にしていく会議への参加を希望されますか。	
1.参加を希望する	1 件
2.迷っている	13 件
3.参加しない	17 件
無回答	11 件
Q5. 今回の地域懇談会に対して何かご意見がありましたら教えてください。	
内容	・もう1時間増やしてほしい。中途半端で時間切れ。(自己紹介は不要、皆さん長すぎ。時間がもったいない。) ・参加者が多過ぎ、話合が集約できない。今後は、団体(自治会、老人会、子供会など)ごとの懇親会にすべき。 ・新しい形の地域懇談会に出席し、地域の問題解決の一途になった。 ・多数の方が集まる事は素晴らしいですね。機会提供ありがとうございました。 ・初めて参加させていただきました。地域の方の協力の力強さを感じました。 ・自治会加入率のアップが大きな課題だと再認識。 ・少々時間が短かった。せっくなのでもう少し欲しい。(交流の) ・討議の具体的なメニューを事前にお知らせいただけるとスムーズかも知れません。 ・27. 4にスタートした当自治会を今回の参加者に知っていただき、ありがとうございました。 ・会場が狭い。 ・提案をどう実現化、具体化していくのか、重要ですね。 ・この様に色々な団体の方々と懇談会はたいへん有意義ですので、今後も続けて頂けたらと思います。今日はありがとうございました。 ・旭が丘5丁目地区に民生委員が(不在)決められていません。何とか人を見つけられないでしょうか。 ・市が以前に比べて地域を活性化しようとしている。今後も一緒に活動できればと思っています。 ・東芝の跡地の流通センターが動き始めた時の交通(道路状況)が気になります。 ・高齢者宅の支援(公道への樹木の茂り対策)が市内の団体で可能が要では。(無料で)ウォーキングの為に河川を含めて要では。(浅川河口～R20大和田橋、一部八王子市も有りで連携が要) ・市道や、都道155号線(旭が丘小学校前の道路)の(事業所前等は特に)除草も要。(公共の場を良くする事に繋がる。) ・初参加だったので、初めの説明で若干とまどいがあり、グループ編成の件で違和感がありました。継続した話し合いが必要だと思います。 ・他の自治会の方の話が参考になりました。 ・大変いいことなので続けて欲しいです。 ・市長の「小さな成功体験積み重ね」いいですね。首都大東京さん、ありがとうございました。

地域みんなで、アクション案
を形にしていきましょう！

一緒に考える人、大募集～！！

- ・地域を楽しみたい人
- ・話すのが好きな人
- ・アイデアマン
- ・絵が好きな人 などなど

8月～11月の間で月1回程度集まるくらい。
お茶でも飲みながら楽しい時間を！

第一回地域懇談会で参加者の皆様に出して頂いた意見を元に、「地域にあるお困りごと・課題の解決をするために、自分たちは何が出来るか」をアクション案として、第二回地域懇談会に向けて有志の参加者と一緒に考えていきます。

この地域懇談会を通し、また、これから進めていく地域でのアクション案を通して、地域内の関係性を高め、「地域の課題を自分たちで解決できる地域」「いざという時に助け合える地域」を一緒に作っていきましょう。

平成 27 年度 第 1 回
地域懇談会報告書
地域が地域コミュニティの活性化を考える！

平成 27 年 9 月発行

【編集・発行】日野市企画部地域協働課

日野市日野本町 1-6-2

日野市生活・保健センター内